

第 2 次 生 活 排 水 对 策 推 進 計 画

(令 和 8 年 度 ~ 令 和 1 7 年 度)

令 和 8 年 3 月

関 ヶ 原 町

目次

| | |
|---------------------|----|
| 第1章 生活排水対策推進計画の概要 | 1 |
| 1 計画策定の趣旨 | 2 |
| 2 計画の位置付け | 3 |
| 3 上位・関連計画 | 4 |
| 4 計画の期間 | 5 |
| 第2章 関ヶ原町の自然的・社会的条件 | 6 |
| 1 自然的条件 | 6 |
| 2 社会的条件 | 10 |
| 第3章 前計画期間中の本町の状況 | 18 |
| 1 水質の状況 | 18 |
| 2 生活排水処理の状況 | 33 |
| 3 前計画の目標 | 38 |
| 第4章 生活排水対策の基本的な考え方 | 39 |
| 1 基本理念 | 39 |
| 2 基本方針 | 39 |
| 3 目標の設定 | 39 |
| 第5章 生活排水対策推進計画 | 40 |
| 1 生活排水処理施設の整備 | 40 |
| 2 河川水辺環境の整備 | 43 |
| 3 一人一人の意識向上とそのための啓発 | 44 |
| 4 その他の水質改善策の推進 | 46 |
| 5 関連部局の調整・近隣市町との協力 | 46 |
| 6 汚濁負荷量の算定 | 47 |
| 7 計画のフォローアップ | 48 |
| 資料1 河川水質調査の結果 | 49 |
| 資料2 汚濁負荷量の推計手法 | 66 |
| 1 処理形態別人口の実績と将来推計 | 66 |
| 2 汚濁負荷量算定方法 | 68 |
| 3 汚濁負荷量の推計結果 | 70 |

第1章 生活排水対策推進計画の概要

関ヶ原町生活排水対策推進計画は、町の水環境を次世代に引き継ぐことを目的としています。

現状、生活排水処理率は84.1%にとどまり、未処理排水が河川水質汚濁の一因となっており、過去には大腸菌群数の基準値超過が頻発しました。

本計画の期間は令和8年度から令和17年度までとし、令和17年度までに生活排水処理率98.0%の達成、相川B類型及びその他河川A類型の水質環境基準の維持、衛生的で多様な水生生物が生息する河川の確保を目指します。

主要な取り組みは、公共下水道の整備と接続の推進、合併処理浄化槽への転換促進と適正管理、家庭における生活排水対策（ブルーリバー作戦）の実践、環境教育・啓発活動による住民意識の向上、水質モニタリング、廃食用油の回収、そして関連部局及び近隣市町との連携強化です。

1 計画策定の趣旨

生活排水対策推進計画は、平成 2 年 6 月に改正された水質汚濁防止法第 14 条の 9 に基づき、生活排水対策重点地域に指定された市町村が策定するもので、生活排水処理施設の整備や啓発事業を推進し、水質汚濁の改善を図るための計画です。

関ヶ原町（以下、「本町」という。）は、相川及び牧田川流域に属する複数の河川を有し、自然豊かな地域であることから、平成 12 年 3 月に牧田川流域が水質汚濁防止法に基づく生活排水対策重点地域に指定され、生活排水対策を特に推進する地域となりました。

本町は平成 20 年 3 月に『第 1 次生活排水対策推進計画』（以下、「前計画」という。）を策定し、住民の協力のもとに、生活排水による水質汚濁の防止を図ってきました。

こうした中で、計画の成果を踏まえ、前計画の内容を見直し、更なる水質の改善を目指す生活排水対策の取り組みを推進するため、『第 2 次関ヶ原町生活排水対策推進計画』（以下、「本計画」という。）を策定します。

表 1-1 生活排水対策重点地域指定の経緯

| 項目 | 内容 |
|------------------------|--|
| 重点地域 | 牧田川流域 |
| 指定範囲 | 養老町、旧上石津町（現、大垣市上石津町）、関ヶ原町（ただし、下水道処理区域を除く） |
| 重点地域指定日 | 平成 12 年 3 月 31 日 |
| 指定の理由 (H12.3.31 当時) | <p>①牧田川流域は、四季を通じ自然そのままの溪谷美をもつ旧上石津町（現、大垣市上石津町）の多良峡や、名水と養老山系の自然に恵まれた養老公園、関ヶ原の古戦場等があり、揖斐関ヶ原養老国定公園に指定されている。</p> <p>②環境省の名水百選や、県の名水に指定された優良な水環境を有する地域が多数あり、水質保全の必要がある。</p> <p>③牧田川流域では、生活系汚濁負荷割合が産業系に比べて高く、さらに生活排水処理率が 35%と、生活排水対策の必要が高い状態にある。（生活系 50.6%、産業系 15.7%、その他 33.7%）</p> <p>④牧田川流域では生活排水処理率が低く、生活排水処理の必要性・緊急性が高いため、流域町長から知事宛に生活排水対策重点地域の指定について要望書が提出された。</p> |

2 計画の位置付け

本計画は、上位計画である「関ヶ原町総合計画 後期基本計画（令和5年度～令和9年度）」や岐阜県の関係計画・事業のほか、関係流域の周辺自治体との協力のもと、推進していきます。

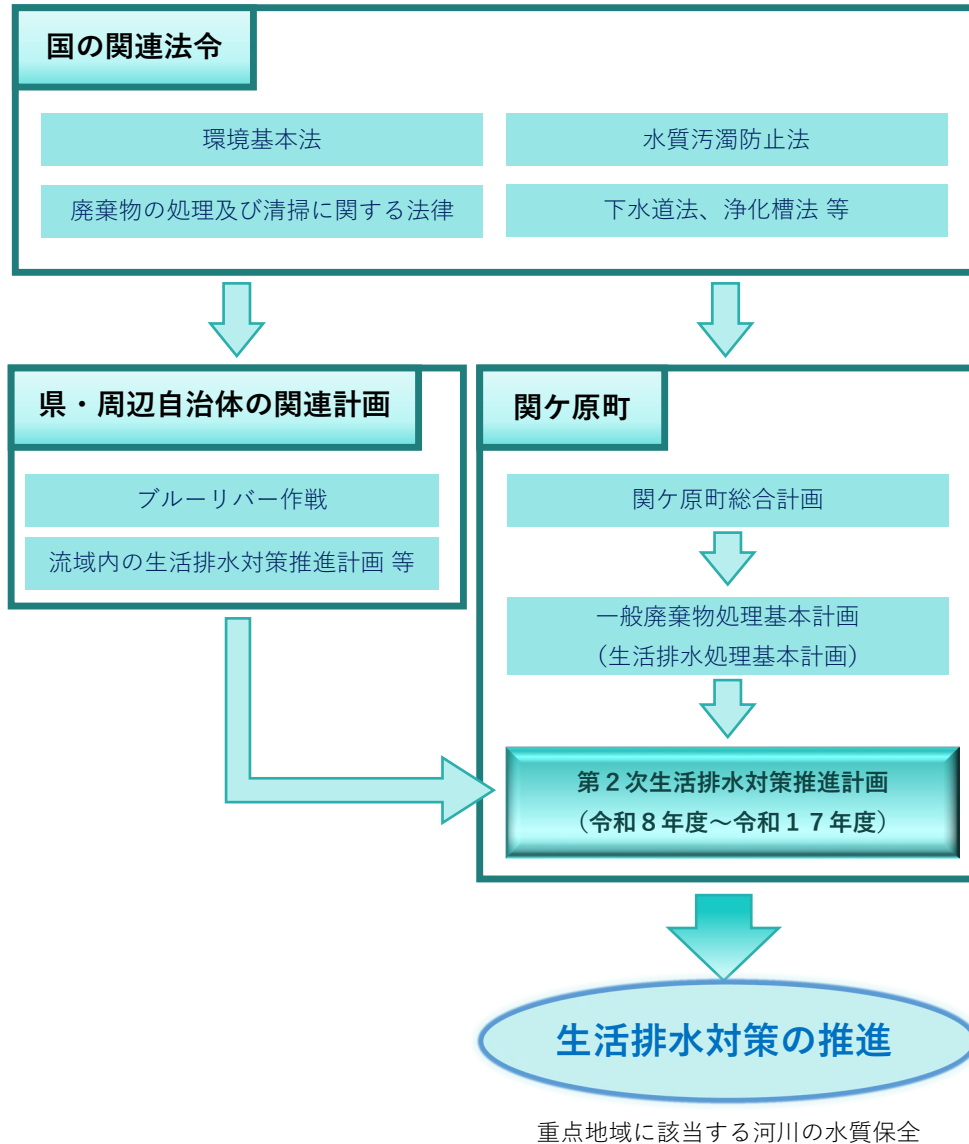


図 1-1 計画の位置付け

3 上位・関連計画

(1) SDGs

地球規模の環境問題が深刻化する中、持続可能でより良い世界を目指す国際目標としてSDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)が2015年9月に、国連持続可能開発サミットで採択されました。



持続可能な開発のための2030アジェンダが採択され、誰一人取り残さないとの誓いのもと、貧困や格差をなくし、気候変動が緩和された持続可能な世界の実現に向けて、2030年を期限とする17のゴール(意欲目標)、169のターゲット(達成目標)と232のインディケータ(指標)の3層構造で構成されています。

SDGsは、先進国・途上国を問わず、すべての国に適用される普遍性が最大の特徴です。

本計画は、SDGsのうち、ターゲット6及び14のゴール達成に寄与するものです。



(2) ブルーリバー作戦【岐阜県及び県内各市町村】

家庭から排出される生活排水、特に浄化槽や下水道によって処理されていない生活雑排水は、生き物の養分になる一方で、生活環境や水環境の悪化を引き起こします。

岐阜県や市町村は、家庭でできる生活排水対策を「ブルーリバー作戦」と名付け、川の汚れを減らす運動を進めています。

本町においても、これからもブルーリバー作戦の啓発を継続し、家庭でできる生活排水対策の取り組みを促進していきます。



出典：岐阜県庁ホームページ

(3) 関ヶ原町総合計画（後期基本計画）

本町では、将来における町のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針として、まちの将来像を示し、総合的かつ計画的な町政の運営を図るために総合計画を策定しています。

総合計画での生活排水に関連する目標としては、表 1-2 のように示されています。

表 1-2 関ヶ原町総合計画 上下水道に関連する施策

| 区分 | 概要 |
|------------|--|
| 計画期間 | 基本構想：平成 30 年度～令和 9 年度 基本計画：令和 5 年度～令和 9 年度（後期基本計画） 実施計画：3 年間として別途策定、ローリング方式 |
| 生活排水に関する施策 | (4)公共下水道事業の推進 ①公共下水道事業及び今須農業集落排水事業を計画的・効率的に推進 ②公共下水道施設の老朽化対策を推進 ③今須農業集落排水施設のマンホールポンプ通報装置の更新 ④未接続世帯の接続を促進 (5)合併処理浄化槽の整備促進と適正管理の促進 ①集合処理に適さない区域の合併処理浄化槽の整備支援 ②設置後の浄化槽の清掃・点検など適正な維持管理を推進 |

4 計画の期間

本計画は令和 6 年度を基準年度とし、令和 8 年度～令和 17 年度までの 10 年間の計画期間とします。また、令和 12 年度を中間目標年度、計画期間の最終年度である令和 17 年度を目標年度とします。

なお、計画期間内に関連する法令や制度の改正により、水環境を取り巻く情勢が大きく変化した場合は、本計画を見直すものとします。

第2章 関ヶ原町の自然的・社会的条件

1 自然的条件

(1) 地理的・地形的特徴

本町は、岐阜県の西端に位置し、北は伊吹山を主峰とする伊吹山地、南は鈴鹿山脈に囲まれています。平野部でも海拔 100m～200m の高低差があり、変化の多い地形が特徴で、東西 8.1km、南北 12.5km の町です。

町土の約 80% を山林が占め、豊かな緑と史跡に恵まれ、古来より交通の要衝として栄えて、天下分け目の戦いが二度（壬申の乱・関ヶ原の戦い）行われた地としても有名です。また、本町は、県が管理する一級河川「相川、藤古川、今須川、大栗毛川」の最上流部に位置しているため、下流域への水質影響が大きく、水質保全の重要性が高いと言えます。



出典：地理院地図

図 2-1 関ヶ原町の位置図

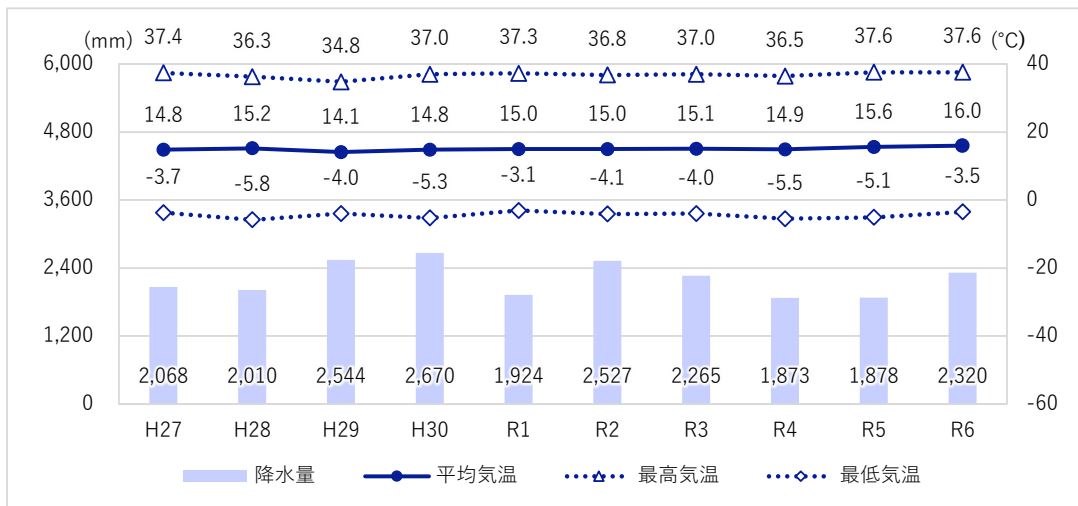
(2) 気象

過去 10 年間の気温及び降水量の推移は図 2-2 に、令和 6 年の月別気温及び降水量の推移は図 2-3 に示すとおりです。

本町は、夏季は南東からの湿った空気の影響で豊富な降水に恵まれ、気温が高く、蒸し暑い日が多い一方、冬季は北西の風が強く、日本海からの多くの水蒸気が、山脈の途切れる隙間を通過して南下し、時として多量の降雪となります。

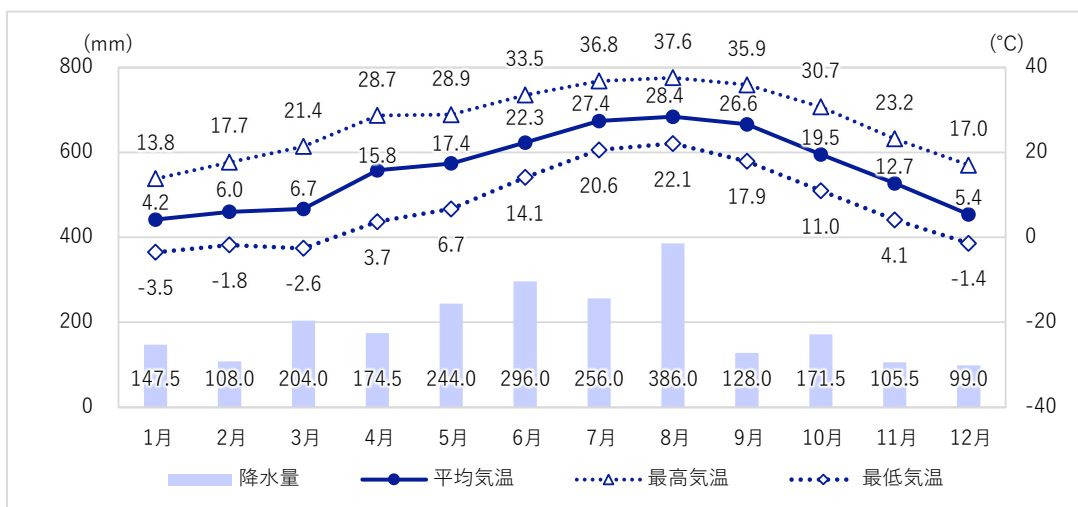
近隣の市町に比べて冬期における降雪量が多くみられ、豪雪地帯対策特別措置法の豪雪地帯として指定されています。

豊富な降水や降雪は、未処理の生活排水が河川に流入しやすい状況を作り出し、水質汚染のリスクを高める可能性があります。



資料：気象庁（関ヶ原）

図 2-2 気温と降水量の推移



資料：気象庁（関ヶ原）

図 2-3 月別気温及び降水量の推移（令和 6 年）

(3) 河川

関ヶ原町を流れる主な河川は図 2-4 に示すとおりであり、相川及び牧田川の 2 つの水域に分かれています。

関ヶ原町を流れる河川の環境基準水域類型指定状況については、相川は環境基準の B 類型に指定されています。

藤古川と今須川が下流で合流する牧田川においては、広瀬橋より上流が AA 類型に指定されていますが、藤古川、今須川などのその他の河川については類型指定を受けていません。

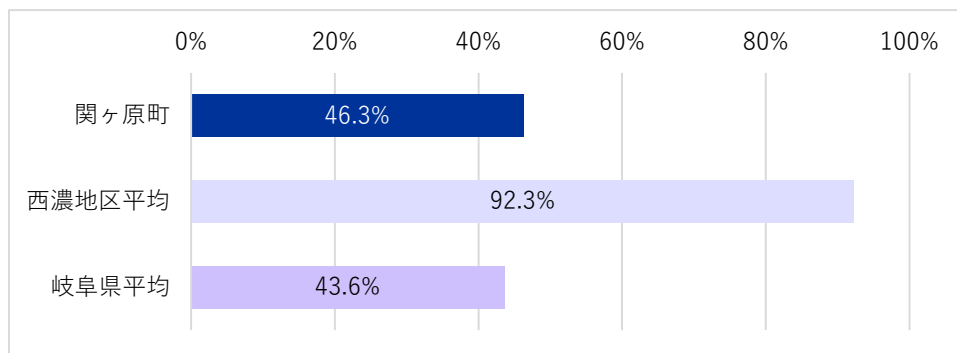


図 2-4 本町の主要河川

(4) 地下水

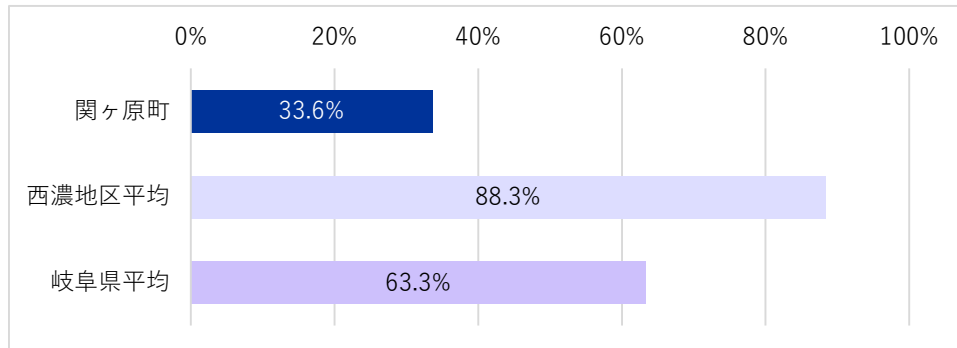
関ヶ原町は、濃尾平野を流れる地下水系におけるかん養域であり、約 80%の森林と相川などの河川からの豊かな伏流水により、基本的に健全な地下水資源を有しています。

関ヶ原町の水道用水や工業用水の地下水依存度は図 2-5 及び図 2-6 に示すとおり 30～50%であり、水源の多様化が図られている地域といえます。



出典：岐阜県の地下水の概要[関ヶ原町]（岐阜県都市建築部水資源課）

図 2-5 水道用水の地下水依存割合（令和 2 年度）



出典：岐阜県の地下水の概要[関ヶ原町]（岐阜県都市建築部水資源課）

図 2-6 工業用水の地下水依存割合（令和 2 年度）

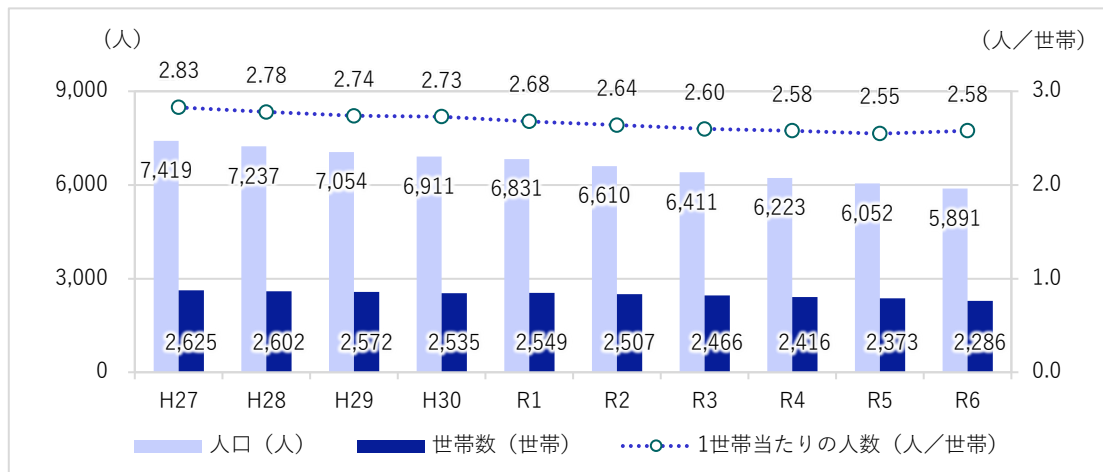
2 社会的条件

(1) 人口及び世帯数

本町の人口及び世帯数の推移は、図 2-7 に示すとおりです。

人口は 10 年間で 1,528 人（20.6%）減少し、また、1 世帯当たりの人口は 10 年間で 0.25 人（8.83%）減少し、世帯規模の縮小が進んでいます。

人口減少と世帯規模の縮小は、生活排水処理施設の利用状況や運営の持続可能性に影響を与える可能性があります。特に、集合処理施設の維持管理コストの増大や、個別処理推進に伴う住民負担の増加など、効率的な事業運営を困難にする要因となるおそれがあります。



資料：県統計課「岐阜県人口動態統計調査」

各年 10 月 1 日現在

図 2-7 人口及び世帯数の推移

(2) 産業

ア 産業分類別事業所数及び従業者数

本町の産業分類別の事業所数及び従業者数の内訳は表 2-1 に、割合は図 2-8 に示すとおりです。

事業所数では、卸売業・小売業が 71 事業所（24.1%）と最も多くなっています。

従業者数では、製造業が 1,526 人（49.5%）と最も多く、約半数を占めています。

表 2-1 産業分類別事業所数・従業者数

| 区 分 | 事業所数 | | 従業者数 | |
|--------------------|-------|--------|-------|--------|
| | (事業所) | 構成比 | (人) | 構成比 |
| 農業, 林業, 漁業 | 7 | 2.4% | 110 | 3.6% |
| 鉱業, 採石業, 砂利採取業 | — | — | — | — |
| 建設業 | 41 | 13.9% | 298 | 9.7% |
| 製造業 | 55 | 18.7% | 1,526 | 49.5% |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 2 | 0.7% | 2 | 0.1% |
| 情報通信業 | 1 | 0.3% | 1 | 0.0% |
| 運輸業, 郵便業 | 6 | 2.0% | 117 | 3.8% |
| 卸売業, 小売業 | 71 | 24.1% | 333 | 10.8% |
| 金融業, 保険業 | 3 | 1.0% | 30 | 1.0% |
| 不動産業, 物品賃貸業 | 9 | 3.1% | 27 | 0.9% |
| 学術研究, 専門・技術サービス業 | 3 | 1.0% | 4 | 0.1% |
| 宿泊業, 飲食サービス業 | 26 | 8.8% | 185 | 6.0% |
| 生活関連サービス業, 娯楽業 | 17 | 5.8% | 28 | 0.9% |
| 教育, 学習支援業 | 7 | 2.4% | 15 | 0.5% |
| 医療, 福祉 | 15 | 5.1% | 232 | 7.5% |
| 複合サービス事業 | 5 | 1.7% | 30 | 1.0% |
| サービス業 (他に分類されないもの) | 26 | 8.8% | 144 | 4.7% |
| 総数 | 294 | 100.0% | 3,082 | 100.0% |

資料：経済センサス活動調査 ※ 民営事業所のみ

令和3年6月1日現在

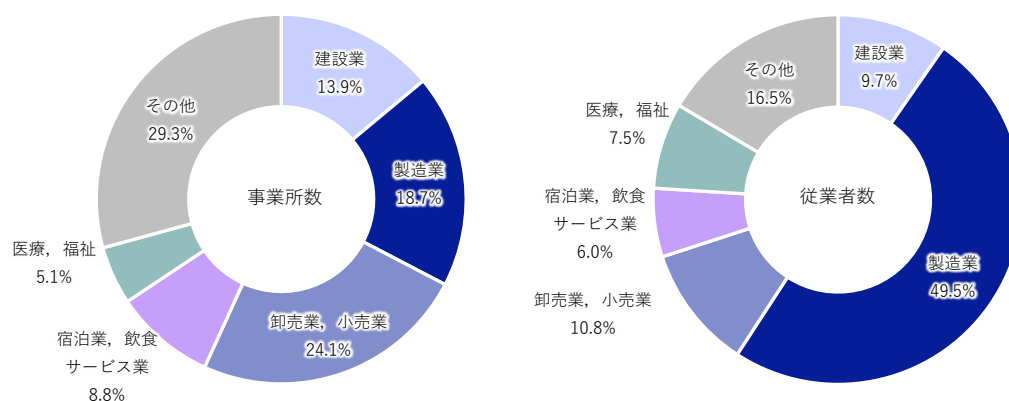


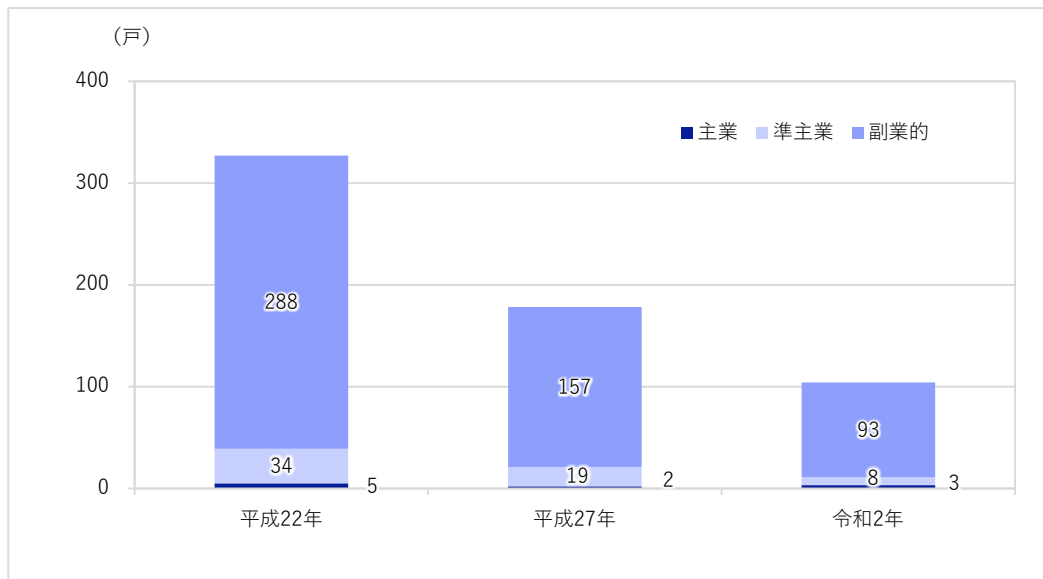
図 2-8 産業分類別事業所数・従業者数の割合

イ 農業

本町の農家数の推移は、図 2-9 に示すとおりです。準主業農家及び副業的農家は著しく減少しています。

経営耕地面積の推移は、図 2-10 に示すとおりです。田は減少し、畑は微増しています。

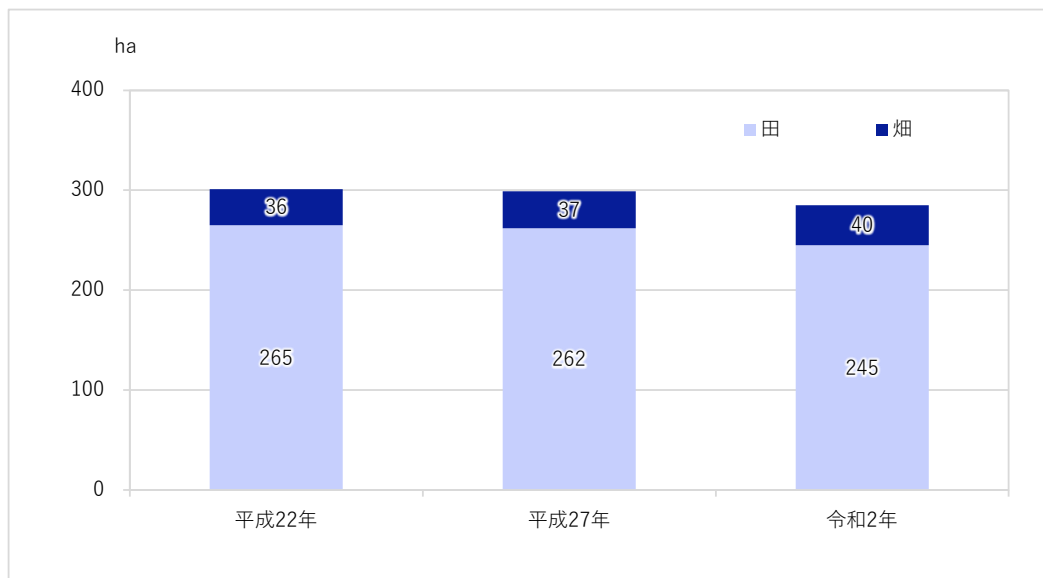
農業の衰退、特に水田の減少は、地下水のかん養機能の低下につながり、水質保全の面で負の影響を及ぼす可能性があります。



資料：農林業センサス

各年 2 月 1 日現在

図 2-9 農家数の推移



資料：東海農政局統計部「東海農林水産統計年報」

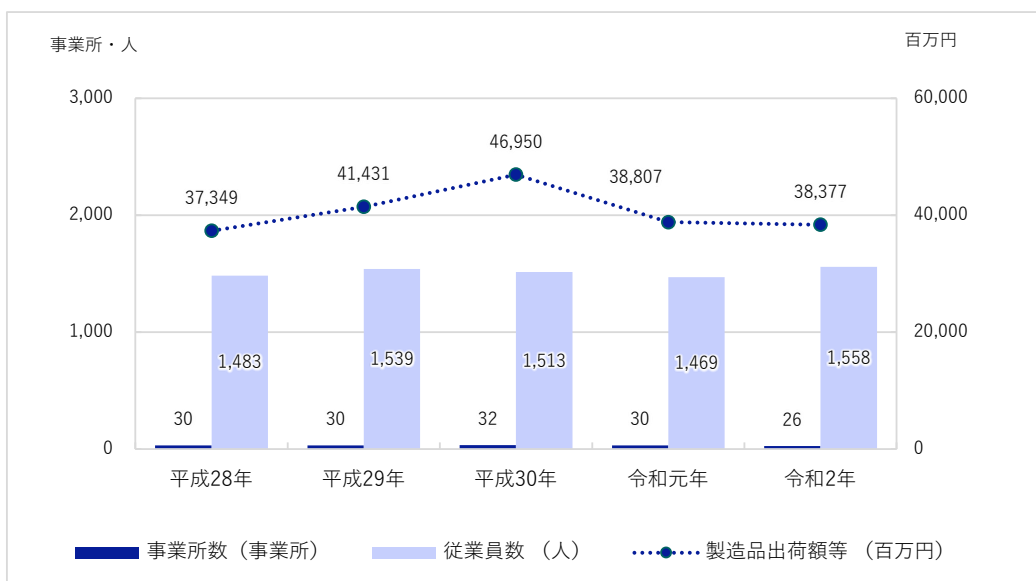
各年 7 月 15 日現在

図 2-10 経営耕地面積の推移

ウ 工業

本町の工業の事業所数、従業員数及び製造品出荷額等の推移は、図 2-11 に示すとおりです。事業所数は令和 2 年に減少しましたが、従業員数は逆に増加し、期間内で最多となっています。製造品出荷額等は平成 30 年をピークに減少した後、横ばいで推移しています。

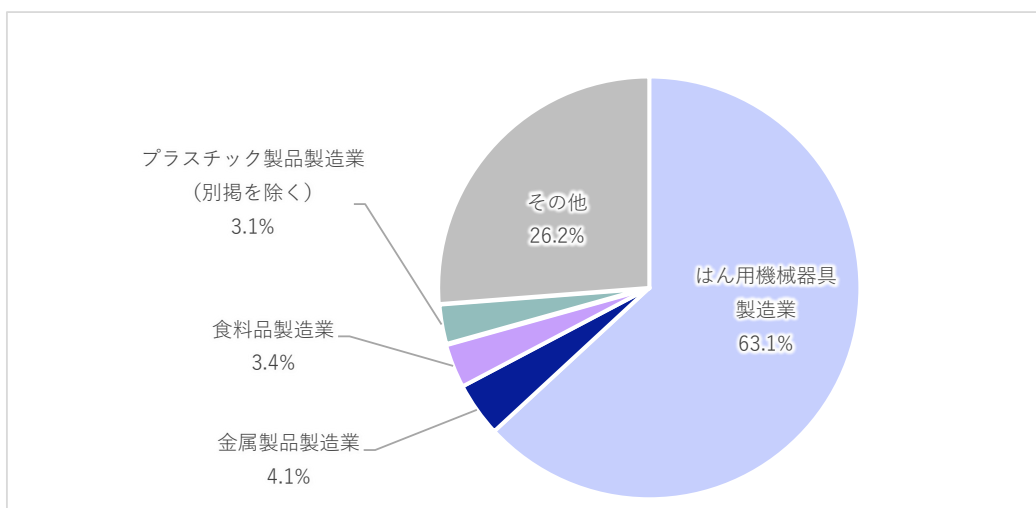
令和 2 年における産業分類別の製造品出荷額等の割合は図 2-12 に示すとおりです。はん用機械器具製造業が最も多く、63.1%を占めています。



※ 事業所数、従業員数は翌年 6 月 1 日現在

資料：工業統計調査（令和 2 年：令和 3 年経済センサスー活動調査）

図 2-11 工業の事業所数、従業員数及び製造品出荷額等の推移



資料：令和 3 年経済センサスー活動調査

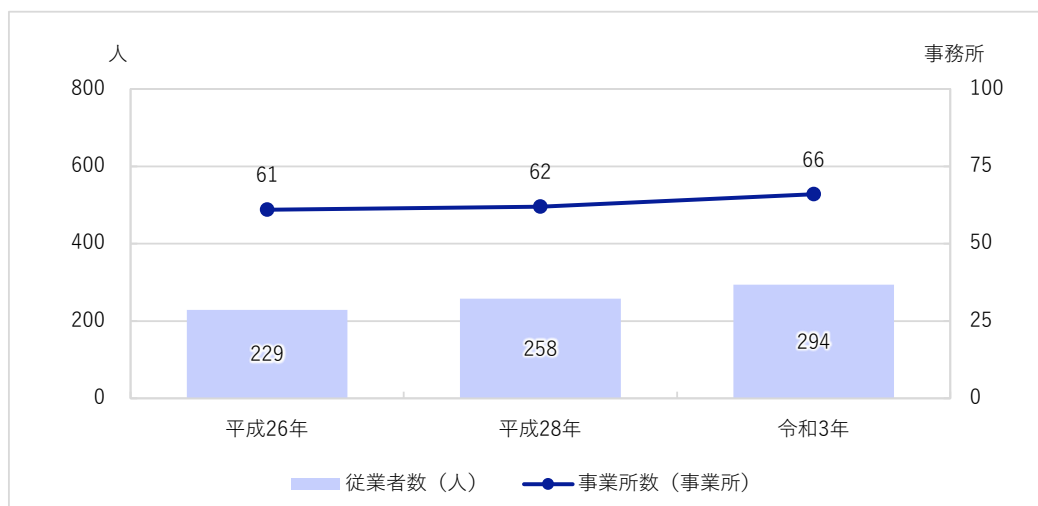
図 2-12 産業分類別製造品出荷額等の割合（令和 2 年）

エ 商業

本町の商業の事業所数、従業員数の推移は、図 2-13 に示すとおりです。事業所数、従業員数は増加しています。

年間商品販売額の推移は、図 2-14 に示すとおりです。卸売業及び小売業の年間商品販売額は大きく増加しています。

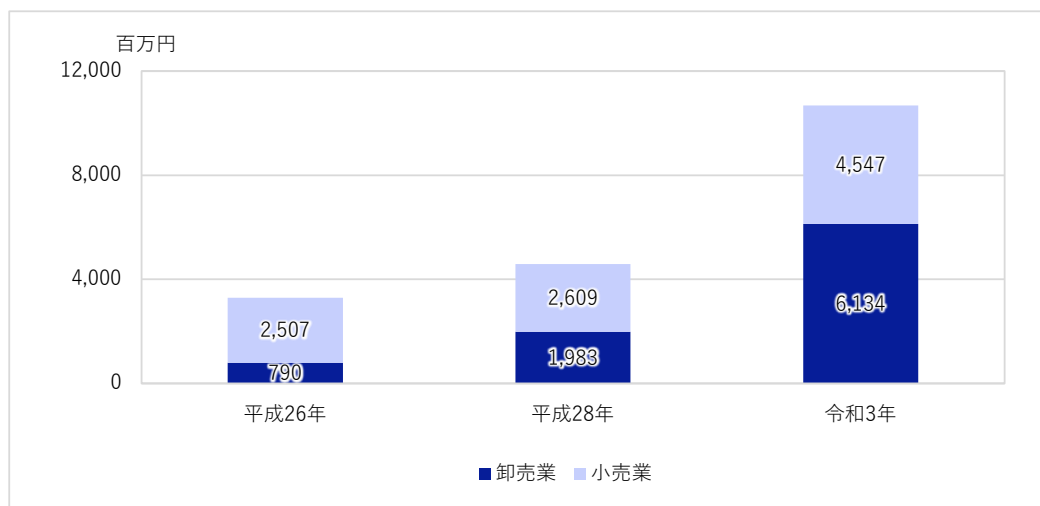
工業・商業の増加は、事業系排水の管理の重要性を高めます。



資料：経済センサスー活動調査（平成 26 年：商業統計調査）

各年 6 月 1 日現在

図 2-13 商業の事業所数及び従業員数の推移



※平成 26 年（販売額は平成 25 年 1 月から 12 月までの 1 年間の販売額）

※平成 28 年（販売額は平成 27 年 1 月から 12 月までの 1 年間の販売額）

※令和 3 年（販売額は令和 2 年 1 月から 12 月までの 1 年間の販売額）

資料：経済センサスー活動調査（平成 26 年：商業統計調査）

図 2-14 年間商品販売額の推移の推移

オ 観光

本町の観光客数の推移は、表 2-2 に示すとおりです。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、令和 2 年及び令和 3 年は観光客数が大幅に減少しましたが、令和 4 年以降に増加し、令和 5 年は 80 万人を超えています。

観光客の増加は、一時的な生活排水量の増加につながる可能性があり、観光施設における排水処理能力の確保や、観光客への啓発活動の重要性が高まります。

表 2-2 観光客数の推移

単位：人

| 項目 | 令和元年 | 令和 2 年 | 令和 3 年 | 令和 4 年 | 令和 5 年 |
|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 関ヶ原町歴史民俗学習館 | 30,751 | 8,804 | 32,809 | 34,072 | 50,852 |
| 東海道自然歩道 | 22,690 | 14,640 | 15,552 | 18,350 | 19,853 |
| 関ヶ原鍾乳洞 | 32,698 | 30,868 | 25,858 | 30,181 | 35,847 |
| 古戦場史跡 | 72,252 | 50,016 | 62,209 | 54,388 | 70,620 |
| 胡麻の郷 | 86,300 | 31,200 | 10,030 | 32,550 | 40,700 |
| sekigahara 花伊吹 | 237,300 | 79,927 | 33,860 | 64,980 | 105,100 |
| 伊吹山ドライブウェイ | 200,433 | 218,387 | 173,002 | 214,490 | 231,618 |
| 関ヶ原ウォーランド | 27,650 | 31,699 | 14,770 | 21,923 | 20,380 |
| 関ヶ原駅前観光交流館 | 35,497 | 24,417 | 23,246 | 33,957 | 38,598 |
| 笹尾山交流館 | 25,363 | 14,683 | 13,857 | 13,054 | 16,950 |
| 岐阜関ヶ原古戦場記念館 | — | 28,819 | 98,226 | 124,178 | 195,094 |
| 合計 | 770,934 | 533,460 | 503,419 | 642,123 | 825,612 |

資料：岐阜県観光入込客数調査

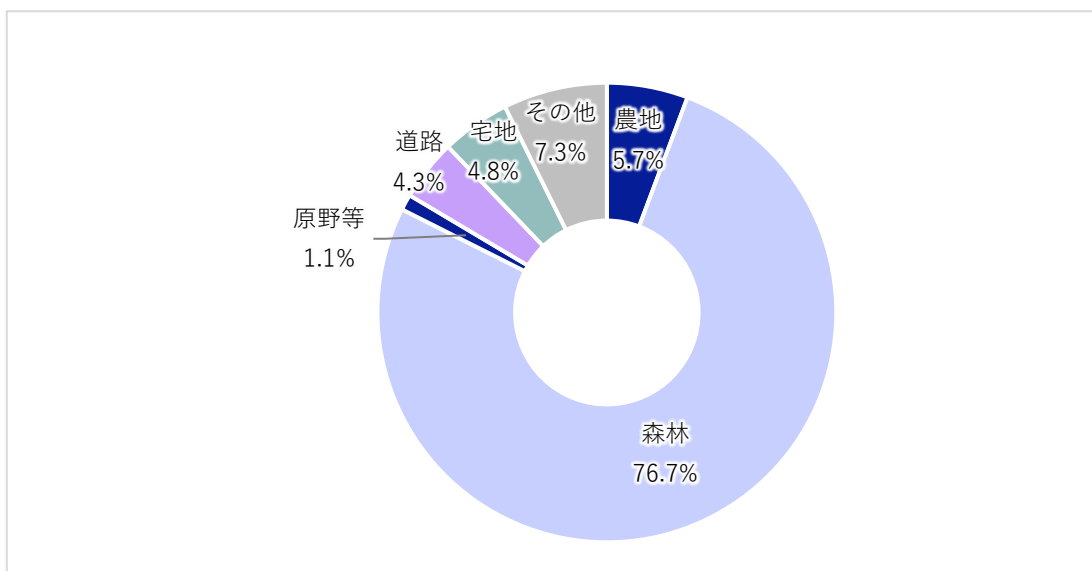
(3) 土地利用状況

本町の地目別土地面積の割合は、図 2-15 に示すとおりです。

本町の 8 割近くは山林で占められ、このうち北部及び南部山地を中心に揖斐関ヶ原養老国定公園に指定されるなど、良好な自然環境を形成しています。

残る平坦地においては、農地や宅地などの利用がなされており、住宅、商店、工場、公共施設などが連担する関ヶ原駅周辺や国道沿線の市街地は用途地域に指定され、この周辺に農地及び農村集落が分布しています。

市街地と農村集落の混在は、公共下水道のような集合処理施設と、合併処理浄化槽のような個別処理施設の双方を効率的に整備・管理する必要があることを示唆しています。



資料：県都市政策課

令和 4 年 1 月 1 日現在

図 2-15 地目別土地面積の割合

(4) 水利用状況

本町の1日の使用水量、給水量及び有収率は、表2-3及び図2-16のとおりです。

本町の給水普及率は100%ですが、人口減少に伴って給水人口も減少している上、近年の節水機器の普及に伴って給水量が減少しています。

給水量の減少は、水道事業の収益性やインフラの維持に影響を与える可能性があります。また、下水道などの集合処理施設への流入水量も減少し、処理効率や施設の維持管理に影響を及ぼす可能性があります。

表2-3 1日の使用水量、給水量及び有収率の推移

| 区分 年 | 1日平均使用水量 (m ³ /日) | 1日平均給水量 (m ³ /日) | 1日最大給水量 (m ³ /日) | 有収率 (%) |
|---------|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------|
| R2 | 2,245 | 3,197 | 3,938 | 70.2 |
| R3 | 2,247 | 3,053 | 3,514 | 73.6 |
| R4 | 2,097 | 3,026 | 3,889 | 69.3 |
| R5 | 2,067 | 3,005 | 3,878 | 68.8 |
| R6 | 2,049 | 2,967 | 3,693 | 69.1 |

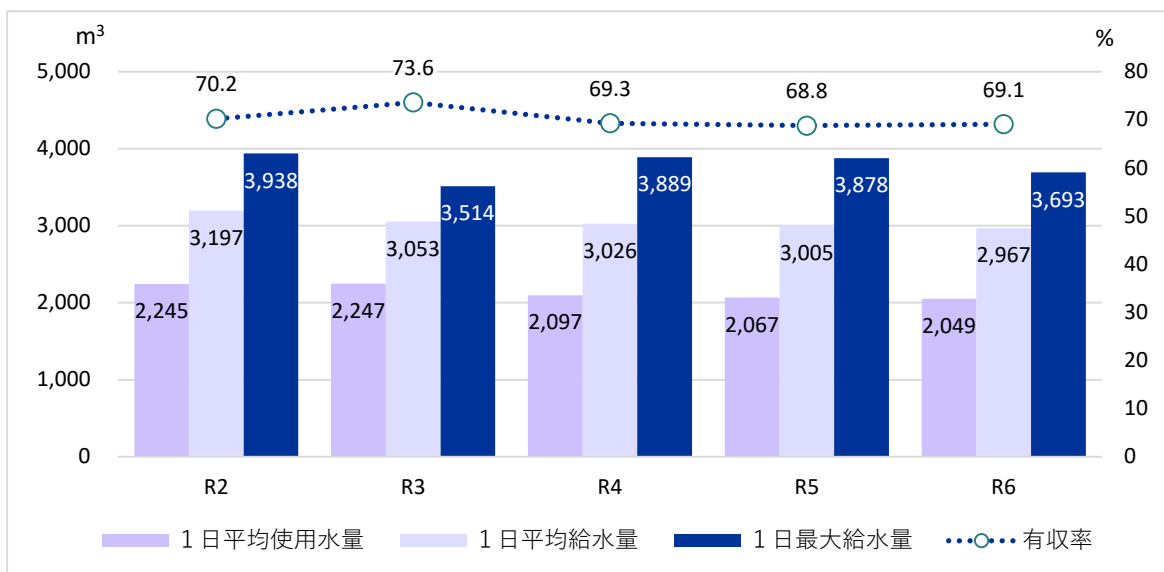


図2-16 1日の使用水量、給水量及び有収率の推移

第3章 前計画期間中の本町の状況

1 水質の状況

(1) 河川的环境基準

水質汚濁防止に係る環境基準は『生活環境の保全に関する環境基準』と『人の健康の保護に関する環境基準』について設定されています。

表 3-1 に示すとおり、河川における生活環境の保全に関する環境基準は、利用目的により、AA～E 類型の 6 段階に区分されており、それぞれ pH、BOD、SS、DO、大腸菌数（令和 3 年度以前は大腸菌群数）の 5 項目について基準値が定められています。

表 3-1(1) 水質汚濁に係る生活環境の保全に関する環境基準（令和 3 年度以前）

| 類 型 | | AA | A | B | C | D | E |
|----------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---|-------------------------------------|--------------------|
| 利用目的の適応性 | | 水道 1 級 自然環境保全及 びA以下の欄に 掲げるもの | 水道 2 級 水産 1 級及びB 以下の欄に掲げ るもの | 水道 3 級 水産 2 級及びC 以下の欄に掲げ るもの | 水産 3 級工業用 水 1 級及び D以下の欄に掲 げるもの | 工業用水 2 級 農業用水及び Eの欄に掲げる もの | 工業用水 3 級 環境保全 |
| 基準値 | 水素イオン濃度 (pH) | 6.5 以上 8.5 以下 | 6.5 以上 8.5 以下 | 6.5 以上 8.5 以下 | 6.5 以上 8.5 以下 | 6.0 以上 8.5 以下 | 6.0 以上 8.5 以下 |
| | 生物化学的酸素要求量 (BOD) | 1mg/L 以下 | 2mg/L 以下 | 3mg/L 以下 | 5mg/L 以下 | 8mg/L 以下 | 10mg/L 以下 |
| | 浮遊物質 (SS) | 25mg/L 以下 | 25mg/L 以下 | 25mg/L 以下 | 50mg/L 以下 | 100mg/L 以下 | ごみ等の浮遊が 認められない事 |
| | 溶存酸素量 (DO) | 7.5mg/L 以上 | 7.5mg/L 以上 | 5mg/L 以上 | 5mg/L 以上 | 2mg/L 以上 | 2mg/L 以上 |
| | 大腸菌群数 | 50 MPN/100mL 以下 | 1,000 MPN/100mL 以下 | 5,000 MPN/100mL 以下 | — | — | — |
| 備考 | <p>1. 基準値は、日間平均値とする。</p> <p>2. 農業用利水点については、水素イオン濃度 6.0 以上 7.5 以下、溶存酸素量 5mg/L 以上とする。</p> <p>3. 自然環境保全：自然探勝等の環境保全</p> <p>水 道 1 級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの。</p> <p>水 道 2 級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの。</p> <p>水 道 3 級：前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの。</p> <p>水 産 1 級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産 2 級及び水産 3 級の水産生物用。</p> <p>水 産 2 級：サケ科魚類及び鮎等貧腐水性水域の水産生物用及び水産 3 級の水産生物用。</p> <p>水 産 3 級：コイ、フナ等 β-中腐水性水域の水産生物用。</p> <p>工業用水 1 級：沈澱等による通常の浄水操作を行うもの。</p> <p>工業用水 2 級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの。</p> <p>工業用水 3 級：特殊の浄水操作を行うもの。</p> <p>環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度。</p> | | | | | | |

表 3-1(2) 水質汚濁に係る生活環境の保全に関する環境基準（令和 4 年度以降）

| 類 型 | | AA | A | B | C | D | E |
|----------|--|---|---|---|---|---------------------------------------|--------------------|
| 利用目的の適応性 | | 水道 1 級 自然環境保全 及び A 以下の欄 に掲げるもの | 水道 2 級 水産 1 級 及び B 以下の欄 に掲げるもの | 水道 3 級 水産 2 級 及び C 以下の欄 に掲げるもの | 水産 3 級工業用 水 1 級 及び D 以下の欄 に掲げるもの | 工業用水 2 級 農業用水 及び E の欄に掲 げるもの | 工業用水 3 級 環境保全 |
| 基準値 | 水素イオン濃度 (pH) | 6.5 以上 8.5 以下 | 6.5 以上 8.5 以下 | 6.5 以上 8.5 以下 | 6.5 以上 8.5 以下 | 6.0 以上 8.5 以下 | 6.0 以上 8.5 以下 |
| | 生物化学的酸素要求量 (BOD) | 1mg/L 以下 | 2mg/L 以下 | 3mg/L 以下 | 5mg/L 以下 | 8mg/L 以下 | 10mg/L 以下 |
| | 浮遊物質 (SS) | 25mg/L 以下 | 25mg/L 以下 | 25mg/L 以下 | 50mg/L 以下 | 100mg/L 以下 | ごみ等の浮遊が 認められない事 |
| | 溶存酸素量 (DO) | 7.5mg/L 以上 | 7.5mg/L 以上 | 5mg/L 以上 | 5mg/L 以上 | 2mg/L 以上 | 2mg/L 以上 |
| | 大腸菌数 | 20 CFU/100mL 以下 | 300 CFU/100mL 以下 | 1,000 CFU/100mL 以下 | — | — | — |
| 備考 | <p>1. 基準値は、日間平均値とする。ただし、大腸菌数に係る基準値については、90%水質値（年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べた際の $0.9 \times n$ 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値（$0.9 \times n$ が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。)) とする（湖沼、海域もこれに準ずる。）。</p> <p>2. 農業利用水点については、水素イオン濃度 6.0 以上 7.5 以下、溶存酸素量 5mg/L 以上とする。</p> <p>3. 水質自動監視測定装置とは、当該項目について自動的に計測することができる装置であって、計測結果を自動的に記録する機能を有するもの又はその機能を有する機器と接続されているものをいう（湖沼、海域もこれに準ずる。）。</p> <p>4. 水道 1 級を利用目的としている測定点（自然環境保全を利用目的としている測定点を除く。）については、大腸菌数 100CFU/100mL 以下とする。</p> <p>5. いずれの類型においても、水浴を利用目的としている測定点（自然環境保全及び水道 1 級を利用目的としている測定点を除く。）については、大腸菌数 300CFU/100mL 以下とする。</p> <p>6. 水産 1 級、水産 2 級及び水産 3 級のみを利用目的とする場合については、当分の間、大腸菌数の項目の基準値は適用しない（湖沼、海域もこれに準ずる。）。</p> <p>7. 大腸菌数に用いる単位は CFU（コロニー形成単位（Colony Forming Unit））/100mL とし、大腸菌を培地で培養し、発育したコロニー数を数えることで算出する。</p> <p>自然環境保全：自然探勝等の環境保全</p> <p>水道 1 級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの。</p> <p>水道 2 級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの。</p> <p>水道 3 級：前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの。</p> <p>水産 1 級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産 2 級及び水産 3 級の水産生物用。</p> <p>水産 2 級：サケ科魚類及び鮎等貧腐水性水域の水産生物用及び水産 3 級の水産生物用。</p> <p>水産 3 級：コイ、フナ等 β-中腐水性水域の水産生物用。</p> <p>工業用水 1 級：沈澱等による通常の浄水操作を行うもの。</p> <p>工業用水 2 級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの。</p> <p>工業用水 3 級：特殊の浄水操作を行うもの。</p> <p>環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度。</p> | | | | | | |

(2) 河川の水質調査

ア 調査地点

本町では、水質の現状を把握するため、毎年水質調査を実施しています。

調査地点は、図 3-1 に示すとおりです。

なお、平成 21 年度とそれ以降の年度では No.3 の採水地点が異なりますが、経年変化を確認する際は同一地点として扱います。



図 3-1 河川水質調査地点図

イ 調査結果

(7) pH

pH は、水素イオン濃度を表す指標であり、水の酸性度やアルカリ度を示す単位です。pH7 を中性とし、それより低い範囲を酸性、高い範囲をアルカリ性と定義されています。

本町を流れる河川の pH の推移は、表 3-2 及び図 3-2～図 3-7 に示すとおりで、平成 24 年の中狭川及び平成 25 年の今須川上流以外は、基準値 (6.5～8.5) を満足しています。

表 3-2 河川水質調査結果 (pH)

| | 相川 | 黒血川 | 今須川 | | 梨木川 | 藤古川 | | 中狭川 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | No. 1 | No. 2 | No. 3 | No. 4 | No. 5 | No. 6 | No. 7 | No. 8 |
| H21 | 7.4 | 7.7 | 7.4 | 7.7 | 7.4 | 8 | 7.9 | 8 |
| H22 | 7.2 | 7.5 | 7.9 | 7.7 | 7.3 | 7.9 | 7.9 | 7.9 |
| H23 | 7.2 | 7.3 | 7.7 | 7.5 | 7.4 | 7.7 | 7.6 | 7.6 |
| H24 | 7.1 | 7.3 | 7.9 | 7.4 | 7.3 | 7.9 | 7.8 | 8.6 |
| H25 | 7.3 | 7.7 | 8.7 | 7.9 | 7.4 | 8.1 | 8 | 8.3 |
| H26 | 7.3 | 7.6 | 7.8 | 7.6 | 7.4 | 8.1 | 8 | 7.9 |
| H27 | 7.3 | 7.6 | 7.8 | 7.7 | 7.5 | 8.1 | 7.8 | 8.1 |
| H28 | 7.4 | 7.6 | 8.2 | 7.8 | 7.6 | 8 | 8 | 7.8 |
| H29 | 7.3 | 7.7 | 8.1 | 7.8 | 7.5 | 8.1 | 8 | 7.8 |
| H30 | 7.3 | 7.7 | 8.2 | 7.8 | 7.8 | 8.1 | 7.9 | 7.8 |
| R1 | 7.4 | 7.7 | 7.9 | 7.8 | 7.6 | 8.1 | 8.0 | 8.0 |
| R2 | 7.5 | 7.5 | 7.9 | 7.7 | 7.5 | 8.1 | 7.9 | 8.0 |
| R3 | 7.4 | 7.6 | 8.0 | 7.7 | 7.6 | 8.1 | 8.0 | 7.8 |
| R4 | 7.1 | 7.5 | 7.7 | 7.7 | 7.3 | 7.9 | 7.9 | 7.6 |
| R5 | 7.2 | 7.6 | 8.1 | 7.8 | 7.5 | 8.1 | 8.0 | 7.8 |
| R6 | 7.2 | 7.6 | 8.1 | 7.7 | 7.5 | 8.0 | 8.0 | 7.8 |

赤太字：基準値超過

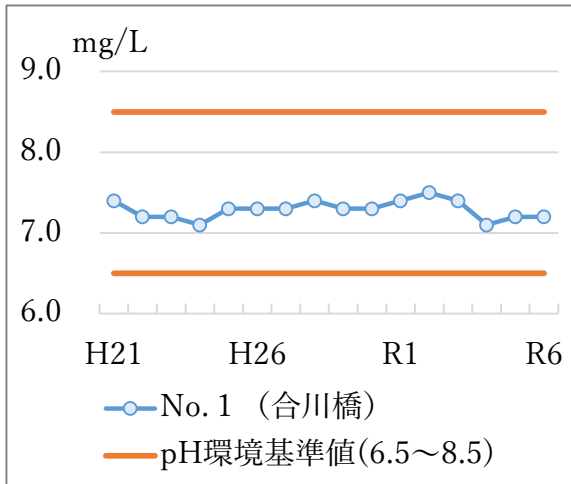


図 3-2 pH の経年変化 (相川)

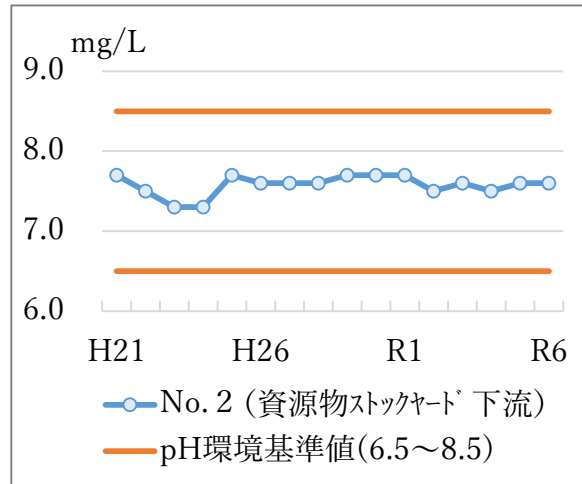


図 3-3 pH の経年変化 (黒血川)

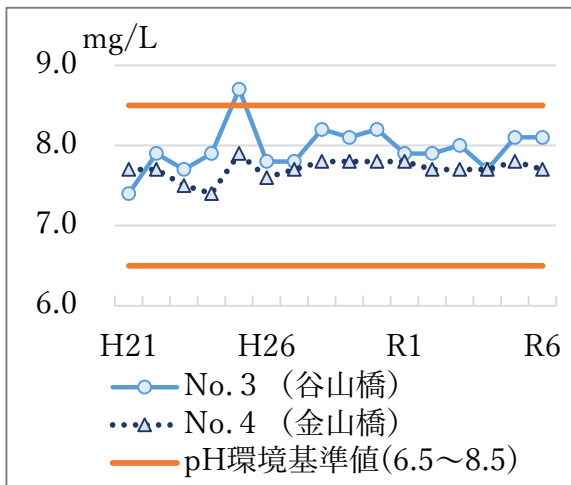


図 3-4 pH の経年変化 (今須川)

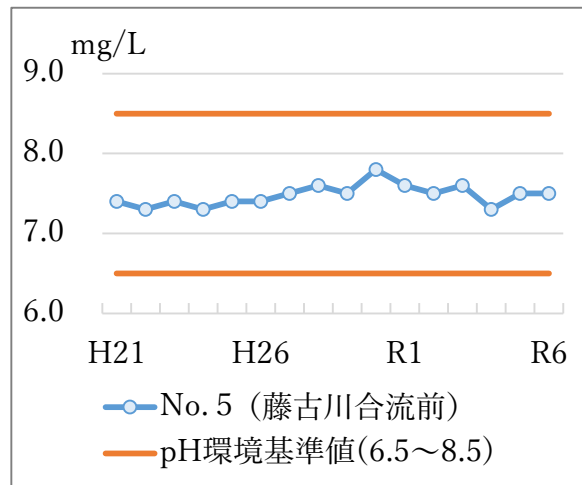


図 3-5 pH の経年変化 (梨木川)

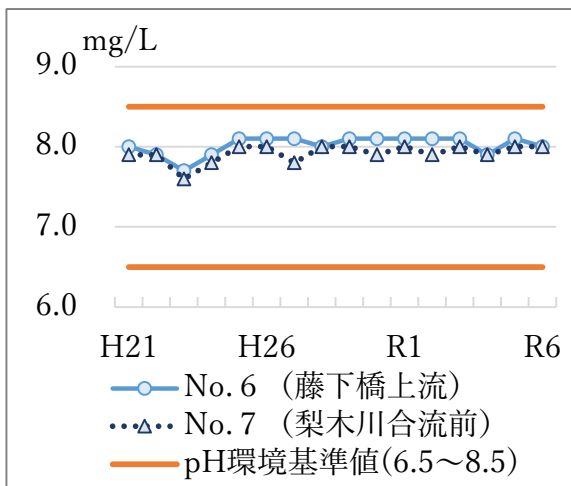


図 3-6 pH の経年変化 (藤古川)

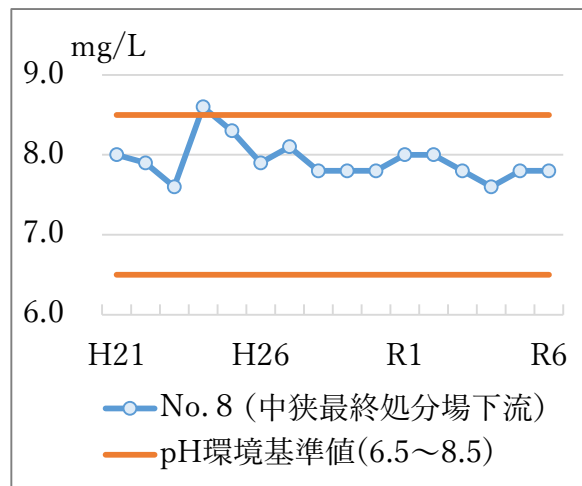


図 3-7 pH の経年変化 (中狭川)

(4) BOD

BOD は生物化学的酸素要求量と呼ばれ、水中に存在する有機物^{※1}を分解するために、微生物が必要とする酸素量を示します。

一般的には BOD 値が大きいほど、多量の酸素を必要とする有機物が存在するため、水質は悪いと考えられます。

BOD (75%値) の推移は表 3-3 及び図 3-8～図 3-13 に示すとおりです。

全ての河川において A 類型^{※2}環境基準値(2mg/L 以下)を満足しています。

表 3-3 河川水質調査結果 (BOD)

単位：mg/L

| | 相川 | 黒血川 | 今須川 | | 梨木川 | 藤古川 | | 中狭川 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | No. 1 | No. 2 | No. 3 | No. 4 | No. 5 | No. 6 | No. 7 | No. 8 |
| H21 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.7 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5未満 |
| H22 | 0.5未満 | 0.5 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.9 | 0.6 | 0.6 | 1.2 |
| H23 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.7 | 0.5 | 0.7 | 0.5未満 | 0.5 | 0.9 |
| H24 | 0.5未満 | 0.5 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5 |
| H25 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.7 | 0.5未満 | 0.6 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5未満 |
| H26 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.7 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5未満 |
| H27 | 0.5未満 | 0.6 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.7 | 0.6 | 0.5未満 | 0.9 |
| H28 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.8 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5未満 |
| H29 | 0.5未満 | 0.8 | 0.7 | 0.6 | 0.8 | 0.7 | 0.5未満 | 0.6 |
| H30 | 0.5未満 | 0.7 | 0.6 | 0.5未満 | 0.6 | 0.6 | 0.5未満 | 0.6 |
| R1 | 0.6 | 0.8 | 0.7 | 0.5 | 0.8 | 0.5 | 0.6 | 0.9 |
| R2 | 0.5 | 0.6 | 0.5未満 | 0.5 | 1.0 | 0.5未満 | 0.6 | 0.7 |
| R3 | 0.5未満 | 0.7 | 0.5 | 0.5未満 | 0.6 | 0.5未満 | 0.6 | 0.6 |
| R4 | 0.6 | 0.5 | 0.7 | 0.7 | 0.9 | 0.8 | 0.9 | 0.7 |
| R5 | 0.7 | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.9 | 0.5 | 0.7 | 0.9 |
| R6 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5未満 | 0.6 | 0.5未満 | 0.5未満 | 0.5 |

※1 炭素と酸素の化合物（炭水化物、たんぱく質、脂質など。ただし、一酸化炭素及び二酸化炭素を除く）のことで、微生物の養分となる物質。

※2 B 類型に指定されている相川を除き、その他の河川は下流で、A 類型に指定されている牧田川に合流する。そのため、A 類型の環境基準値で評価した。

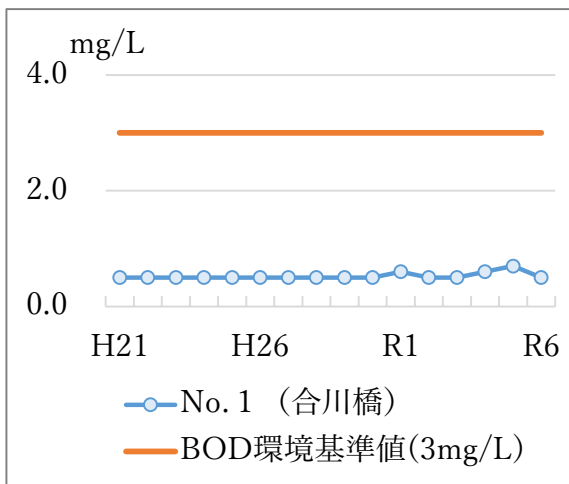


図 3-8 BOD の経年変化 (相川)

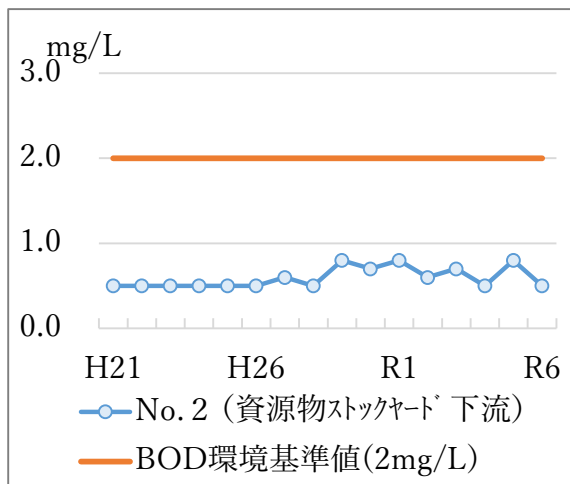


図 3-9 BOD の経年変化 (黒血川)

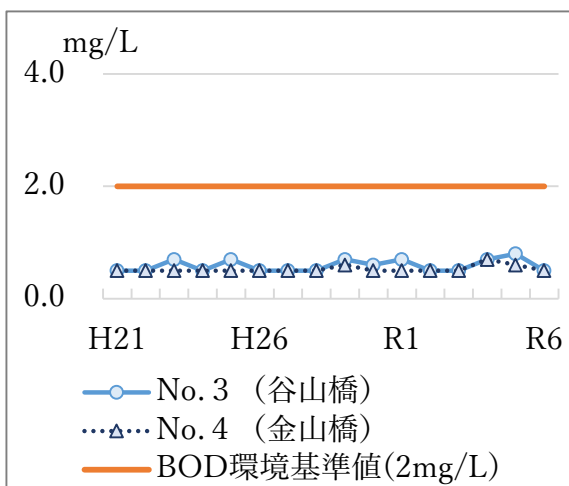


図 3-10 BOD の経年変化 (今須川)

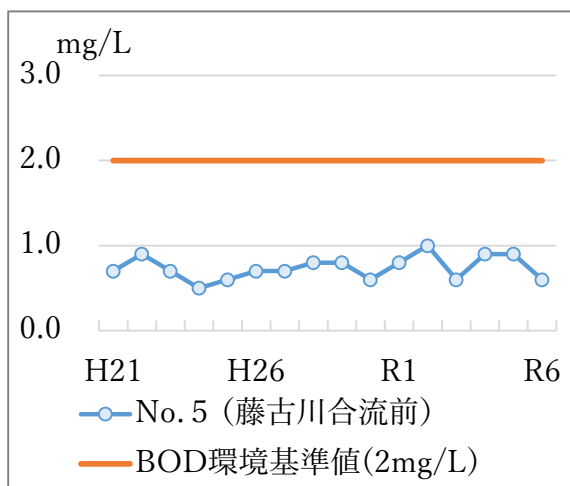


図 3-11 BOD の経年変化 (梨木川)

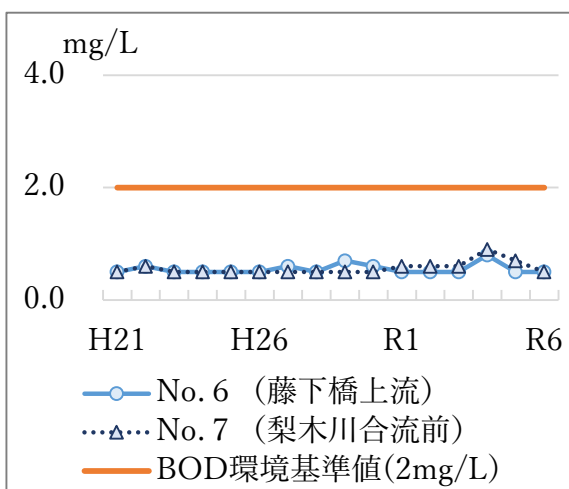


図 3-12 BOD の経年変化 (藤古川)

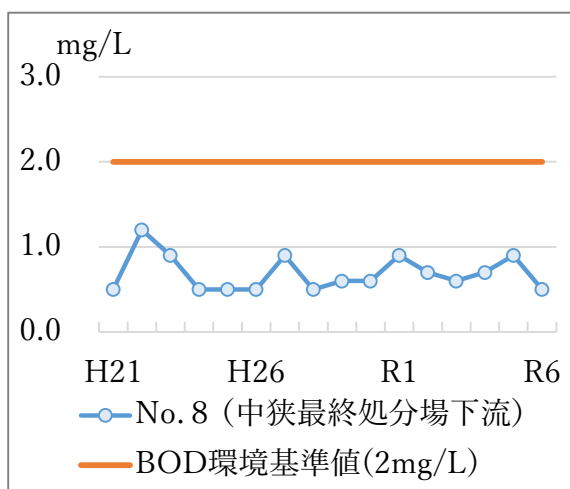


図 3-13 BOD の経年変化 (中狭川)

(ウ) SS

SS は、浮遊物質量と呼ばれ、水に溶解せず水中に浮遊している物質の総量を表す指標であり、水の濁りの度合いも示します。

SS 値が高いほど、その水は濁っていることを示します。

SS の推移は表 3-4 及び図 3-14～図 3-20 に示すとおりです。

すべての河川について、環境基準値(25mg/L 以下)を満足しています。

表 3-4 河川水質調査結果 (SS)

単位：mg/L

| | 相川 | 黒血川 | 今須川 | | 梨木川 | 藤古川 | | 中狭川 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | No. 1 | No. 2 | No. 3 | No. 4 | No. 5 | No. 6 | No. 7 | No. 8 |
| H21 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 |
| H22 | 2 | 4 | 2 | 2 | 3 | 3 | 2 | 4 |
| H23 | 1 | 5 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 |
| H24 | 1 | 2 | 3 | 1 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| H25 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| H26 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 6 |
| H27 | 1 | 5 | 2 | 1 | 3 | 4 | 3 | 4 |
| H28 | 2 | 3 | 1 | 1 | 3 | 4 | 2 | 5 |
| H29 | 1 | 11 | 2 | 1 | 2 | 4 | 2 | 3 |
| H30 | 1 | 8 | 1 | 1未満 | 1 | 7 | 2 | 3 |
| R1 | 1 | 3 | 1 | 1未満 | 2 | 3 | 2 | 3 |
| R2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 6 | 2 | 4 |
| R3 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | 3 | 2 | 4 |
| R4 | 1 | 2 | 2 | 1 | 2 | 6 | 3 | 3 |
| R5 | 1未満 | 5 | 1 | 1未満 | 1 | 5 | 2 | 3 |
| R6 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 5 | 2 | 2 |

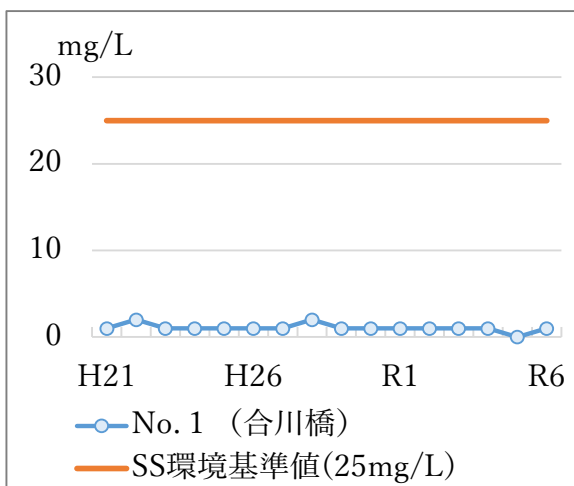


図 3-14 SS の経年変化 (相川)

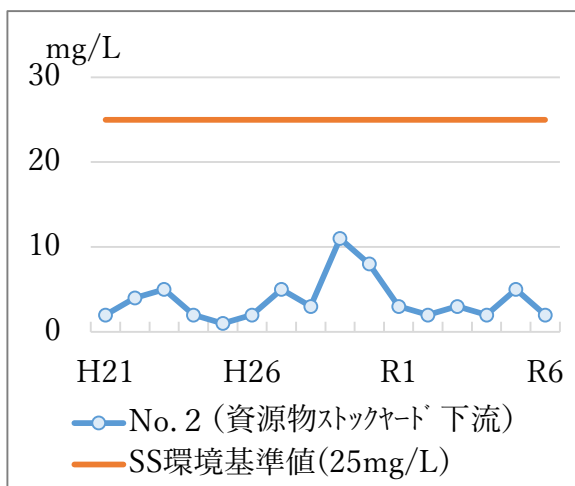


図 3-15 SS の経年変化 (黒血川)

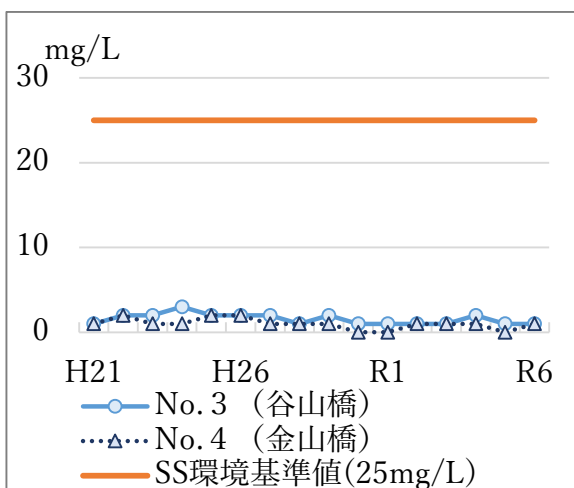


図 3-16 SS の経年変化 (今須川)

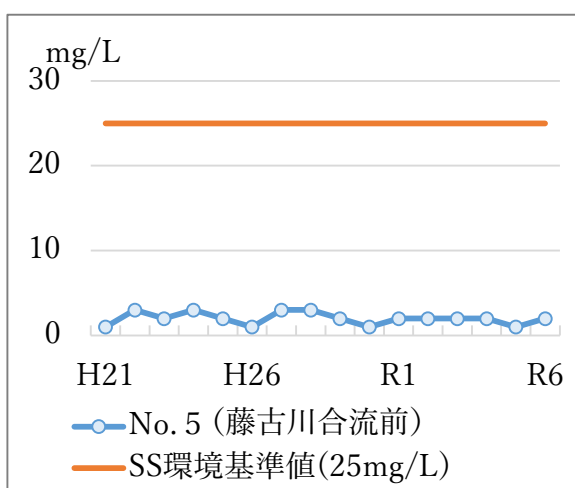


図 3-17 SS の経年変化 (梨木川)

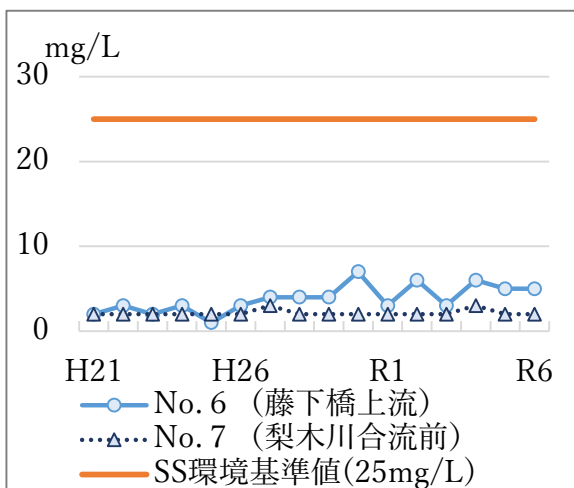


図 3-18 SS の経年変化 (藤古川)

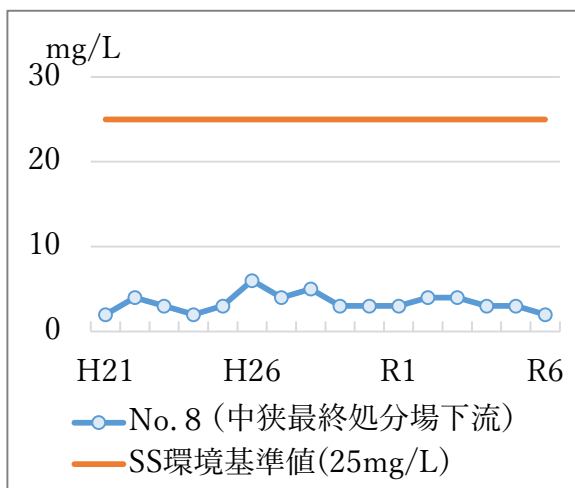


図 3-19 SS の経年変化 (中狭川)

(I) DO

DO は、溶存酸素量と呼ばれ、水中に溶け込んでいる酸素量を指します。

水中で生活する生物の呼吸に必須であり、汚濁した環境では微生物の繁殖によって多量の DO が消費されるため、DO が高いほど良好な水質であるといえます。

DO の推移は表 3-5 及び図 3-20～図 3-26 に示すとおりです。

すべての河川において A 類型環境基準値(7.5mg/L 以上)を満足しています。

表 3-5 河川水質調査結果 (DO)

単位：mg/L

| | 相川 | 黒血川 | 今須川 | | 梨木川 | 藤古川 | | 中狭川 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | No. 1 | No. 2 | No. 3 | No. 4 | No. 5 | No. 6 | No. 7 | No. 8 |
| H21 | 9.8 | 11 | 10 | 11 | 10 | 11 | 11 | 10 |
| H22 | 9.9 | 10 | 10 | 10 | 9.6 | 10 | 10 | 10 |
| H23 | 9.5 | 9.6 | 10 | 9.6 | 9.2 | 9.7 | 9.5 | 9.1 |
| H24 | 10 | 10 | 10 | 9.9 | 9.3 | 10 | 9.9 | 10 |
| H25 | 9.9 | 9.4 | 11 | 9.9 | 9.3 | 10 | 9.8 | 9.6 |
| H26 | 11 | 10 | 10 | 10 | 9.8 | 11 | 10 | 10 |
| H27 | 9.7 | 10 | 10 | 10 | 9.9 | 10 | 10 | 10 |
| H28 | 9.9 | 9.4 | 10 | 9.9 | 9.5 | 9.9 | 10 | 9.5 |
| H29 | 10 | 10 | 11 | 10 | 9.9 | 10 | 10 | 10 |
| H30 | 10 | 10 | 11 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| R1 | 10 | 11 | 11 | 11 | 10 | 11 | 11 | 10 |
| R2 | 12 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 |
| R3 | 11 | 11 | 11 | 11 | 10 | 10 | 11 | 10 |
| R4 | 11 | 10 | 11 | 11 | 10 | 11 | 11 | 10 |
| R5 | 10 | 11 | 11 | 10 | 10 | 10 | 10 | 11 |
| R6 | 10 | 10 | 10 | 10 | 9.8 | 10 | 10 | 10 |

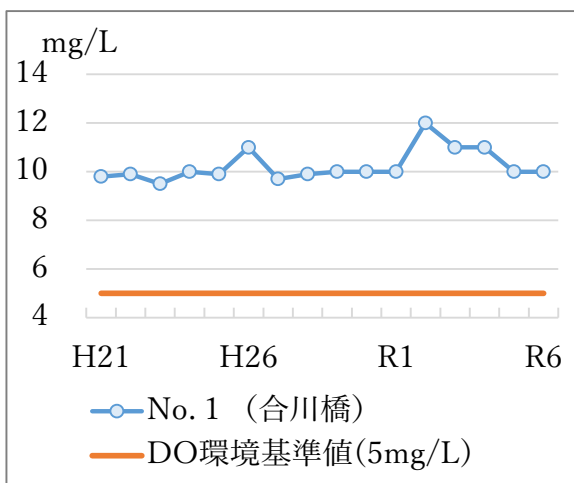


図 3-20 DO の経年変化 (相川)

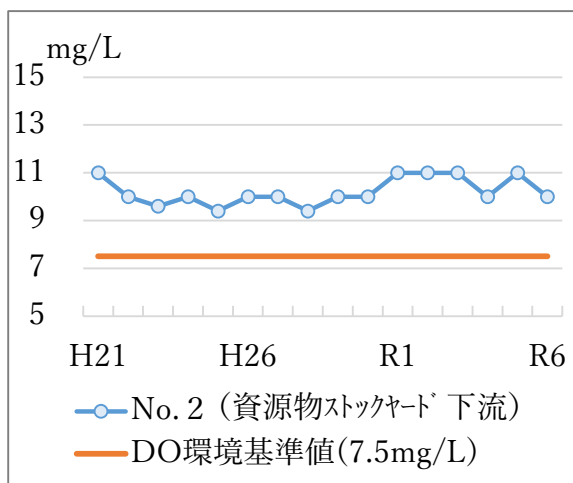


図 3-21 DO の経年変化 (黒血川)

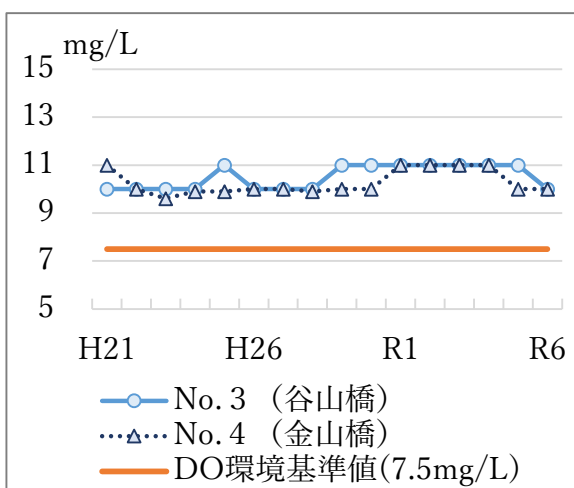


図 3-22 DO の経年変化 (今須川)

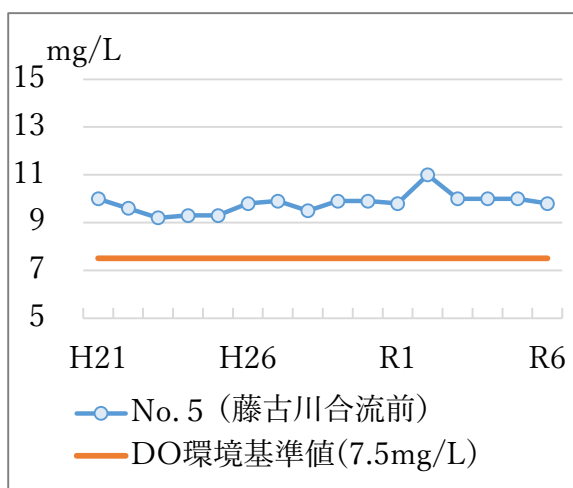


図 3-23 DO の経年変化 (梨木川)

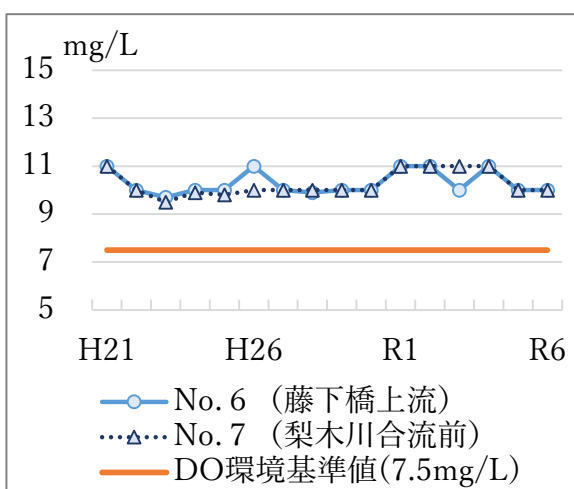


図 3-24 DO の経年変化 (藤古川)

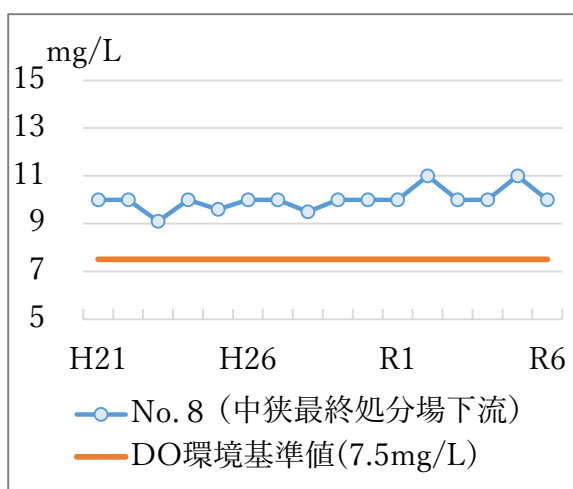


図 3-25 DO の経年変化 (中狭川)

(オ) 大腸菌群数、大腸菌数

大腸菌群数(MPN/100mL)とは、大腸菌とそれによく似た細菌群の数のことで、数値が大きければ大きいほど、水中に存在する大腸菌群が多いことを示しています。しかし、土壌に含まれる自然由来の細菌も含まれるため、令和4年度より環境基準項目が「大腸菌数(CFU/100mL)」に変更されました。

令和3年度までの大腸菌群数の推移は表3-6及び図3-26～図3-31に、令和4年度以降の大腸菌数の推移は表3-7及び図3-32～図3-37に示すとおりです。

大腸菌群数ではほぼすべての地点で基準値を超過していましたが、大腸菌数は、黒血川、今須川、梨木川、中狭川が基準値(300CFU/100mL)を超過しています。これは、し尿や生活雑排水の未処理流入や動物のフン等が要因と考えられることから、生活排水対策の一層の強化が喫緊の課題となっています。

表 3-6 河川水質調査結果 (大腸菌群数)

単位：MPN/100mL

| | 相川 | 黒血川 | 今須川 | | 梨木川 | 藤古川 | | 中狭川 |
|-----|--------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|
| | No. 1 | No. 2 | No. 3 | No. 4 | No. 5 | No. 6 | No. 7 | No. 8 |
| H21 | 5,300 | 9,900 | 4,600 | 3,500 | 6,500 | 2,200 | 1,300 | 10,000 |
| H22 | 3,900 | 5,700 | 3,800 | 3,000 | 5,500 | 1,300 | 9,500 | 46,000 |
| H23 | 4,000 | 20,000 | 5,200 | 3,300 | 8,700 | 2,000 | 4,100 | 8,600 |
| H24 | 2,600 | 8,400 | 4,100 | 4,200 | 12,000 | 1,900 | 5,600 | 16,000 |
| H25 | 2,700 | 6,900 | 3,500 | 2,000 | 9,500 | 1,800 | 3,200 | 31,000 |
| H26 | 7,400 | 31,000 | 4,800 | 9,700 | 12,000 | 2,700 | 3,200 | 5,100 |
| H27 | 8,600 | 9,100 | 5,000 | 7,800 | 18,000 | 4,100 | 6,700 | 11,000 |
| H28 | 5,100 | 9,400 | 5,200 | 3,200 | 15,000 | 7,700 | 3,400 | 8,400 |
| H29 | 7,100 | 13,000 | 4,600 | 2,000 | 13,000 | 5,200 | 7,700 | 17,000 |
| H30 | 7,500 | 21,000 | 4,200 | 2,600 | 16,000 | 5,600 | 2,000 | 25,000 |
| R1 | 8,600 | 54,000 | 4,700 | 8,100 | 22,000 | 5,400 | 3,600 | 15,000 |
| R2 | 9,500 | 15,000 | 5,000 | 4,100 | 21,000 | 6,600 | 3,000 | 22,000 |
| R3 | 14,000 | 14,000 | 7,900 | 5,600 | 15,000 | 9,000 | 670 | 43,000 |

赤太字：基準値超過

表 3-7 河川水質調査結果 (大腸菌数)

単位：CFU/100mL

| | 相川 | 黒血川 | 今須川 | | 梨木川 | 藤古川 | | 中狭川 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | No. 1 | No. 2 | No. 3 | No. 4 | No. 5 | No. 6 | No. 7 | No. 8 |
| R4 | 160 | 200 | 240 | 220 | 2200 | 230 | 170 | 2500 |
| R5 | 270 | 540 | 290 | 180 | 500 | 230 | 110 | 750 |
| R6 | 270 | 480 | 320 | 570 | 490 | 200 | 190 | 470 |

赤太字：基準値超過

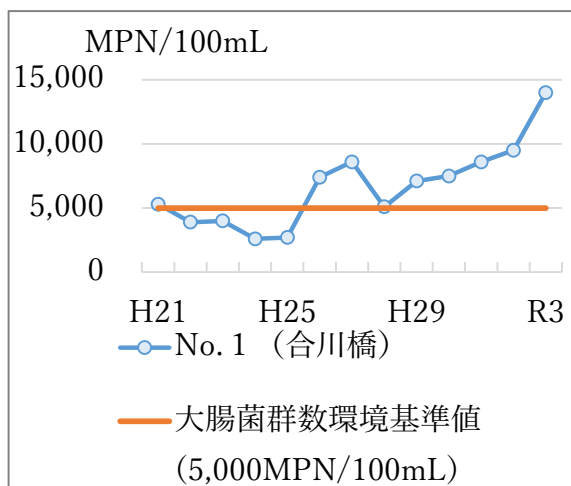


図 3-26 大腸菌群数の経年変化（相川）

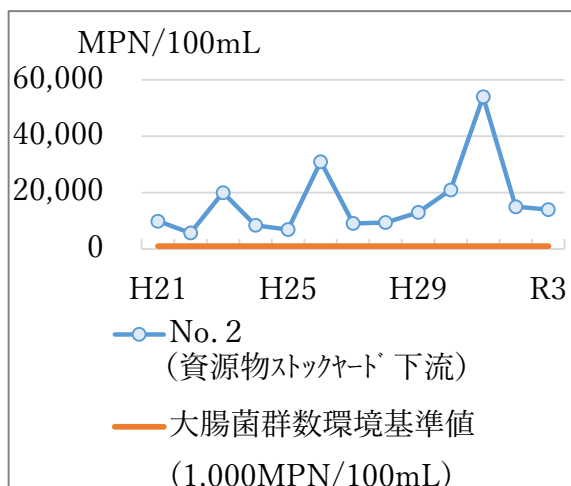


図 3-27 大腸菌群数の経年変化（黒血川）

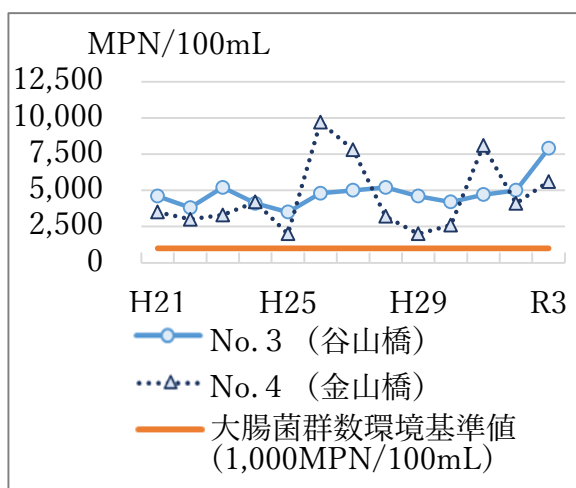


図 3-28 大腸菌群数の経年変化（今須川）

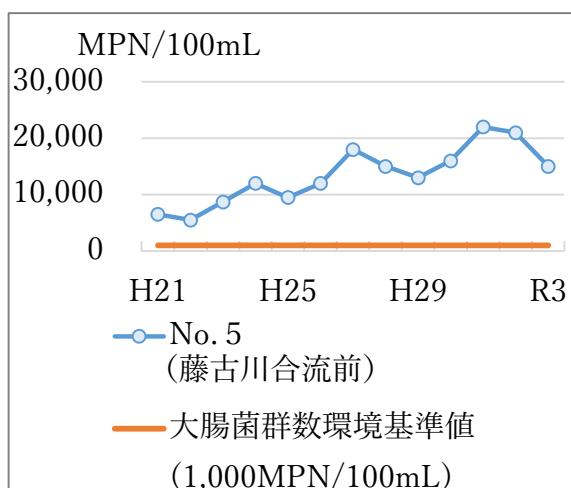


図 3-29 大腸菌群数の経年変化（梨木川）

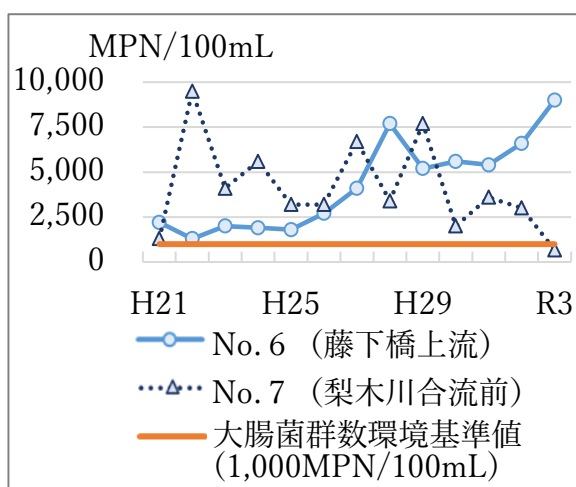


図 3-30 大腸菌群数の経年変化（藤古川）

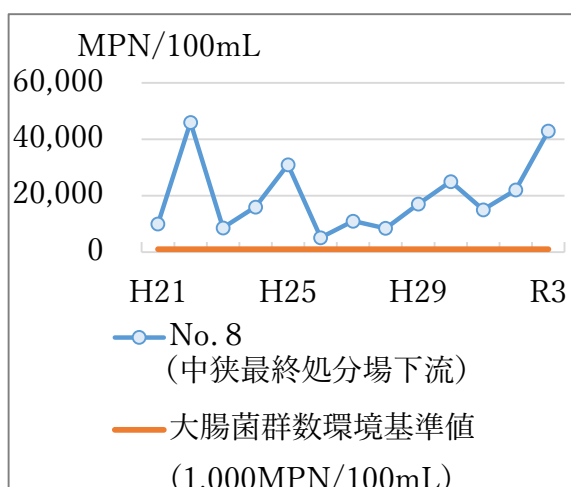


図 3-31 大腸菌群数の経年変化（中狭川）

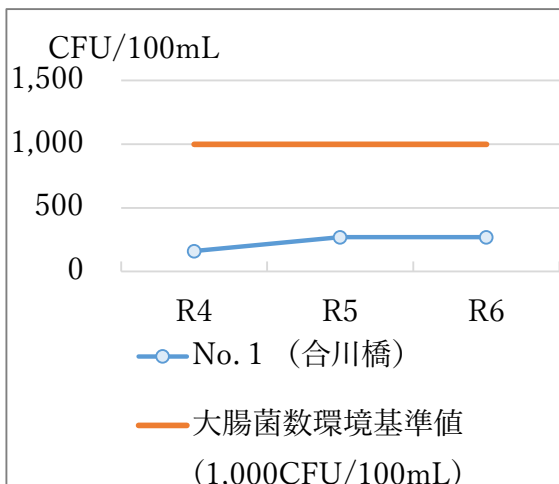


図 3-32 大腸菌数の経年変化（相川）

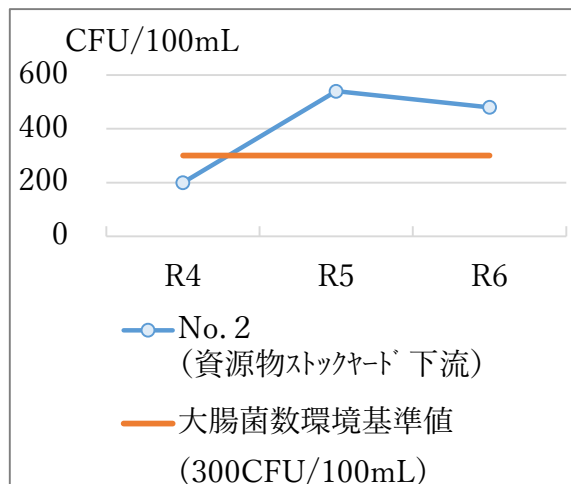


図 3-33 大腸菌数の経年変化（黒血川）

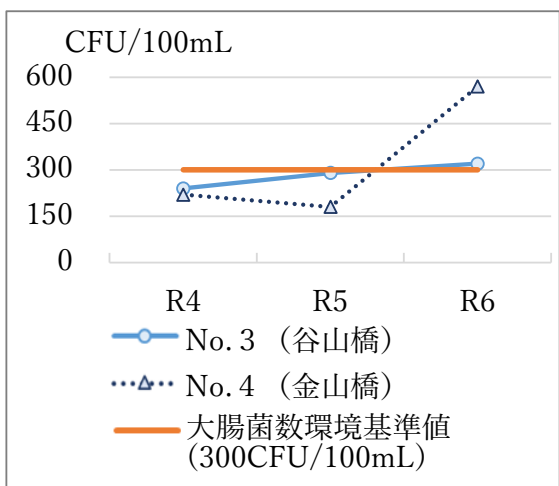


図 3-34 大腸菌数の経年変化（今須川）

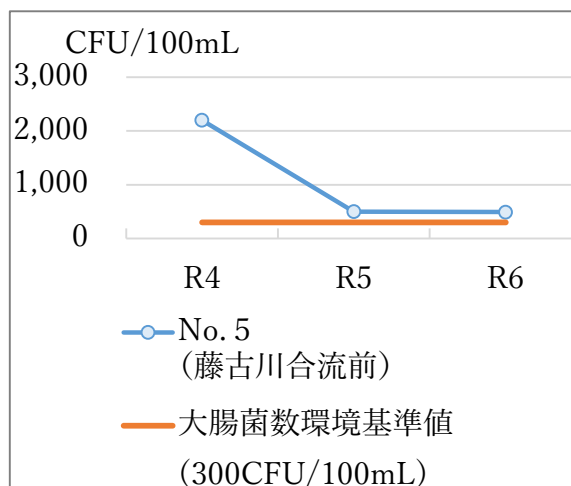


図 3-35 大腸菌数の経年変化（梨木川）

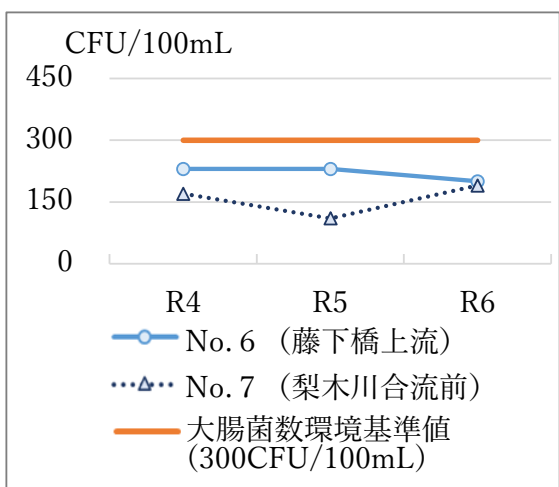


図 3-36 大腸菌数の経年変化（藤古川）

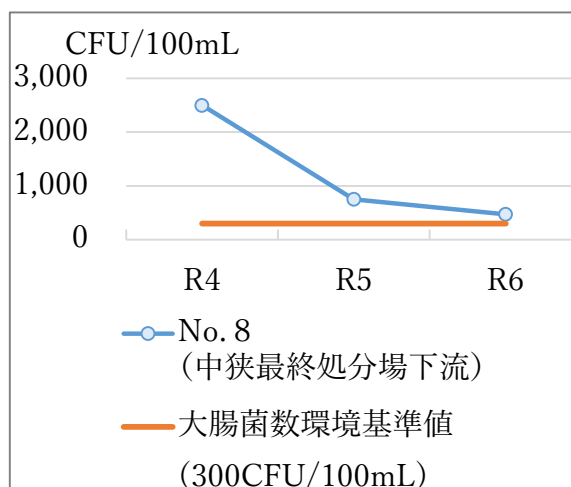


図 3-37 大腸菌数の経年変化（中狭川）

2 生活排水処理の状況

(1) 生活排水の処理体系

本町における生活排水の処理体系は、図 3-38 に示すとおりです。

生活排水のうち、し尿と生活雑排水を合わせた処理を行う施設としては、集合処理施設（公共下水道、農業集落排水処理施設等）と、個別処理施設である各敷地内に設置された合併処理浄化槽があります。

これらの施設で処理されている人口は約 85%です。一方、残りの生活雑排水は未処理のまま河川等に排出されており、水質汚濁の一因となっています。

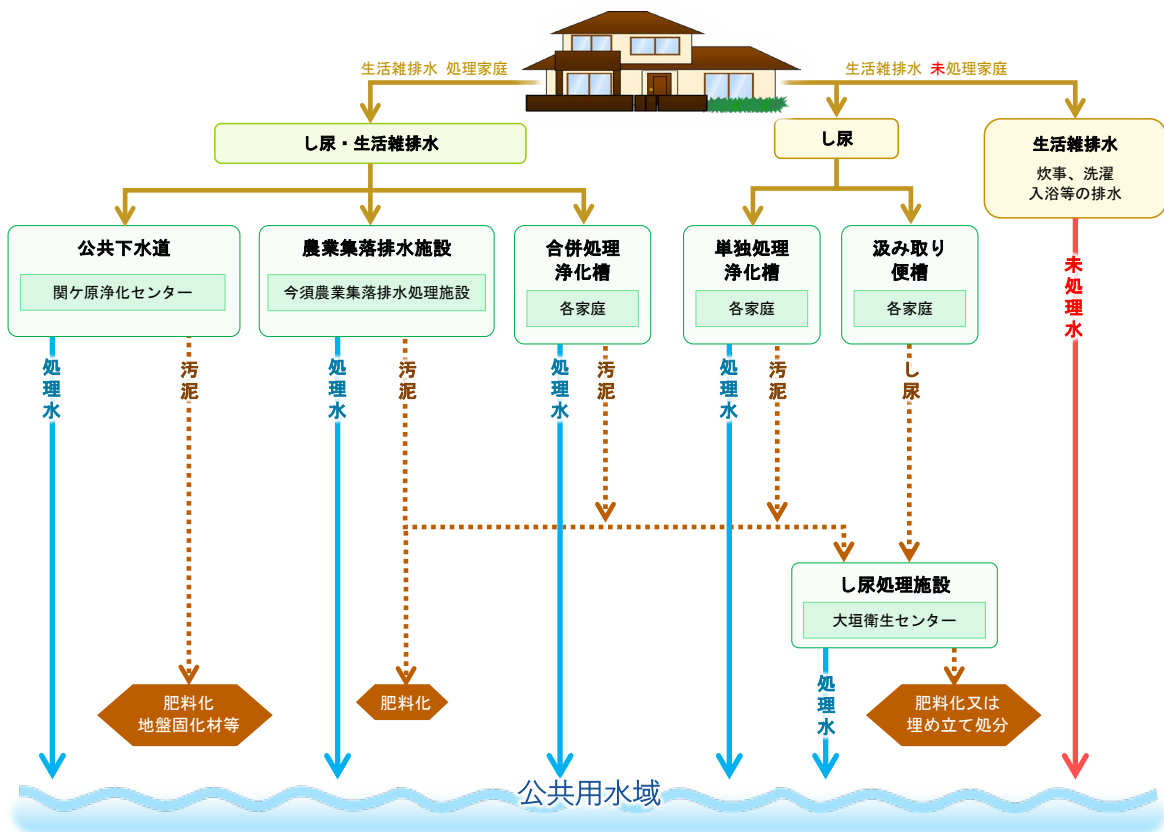


図 3-38 生活排水の処理体系

(2) 生活排水処理施設

ア 公共下水道

公共下水道は、図 3-39 に示すとおり、家庭の台所・水洗トイレ・風呂や工場・事業所から出る汚水を、道路下に埋設された下水道管に流し、処理場を集めて処理した後、きれいな水として川に流す施設です。

本町の下水道は、平成 4 年 10 月に事業認定を得て平成 10 年に一部供用を開始しました。

関ヶ原町の下水道事業の概要は、表 3-8 に示すとおりです。

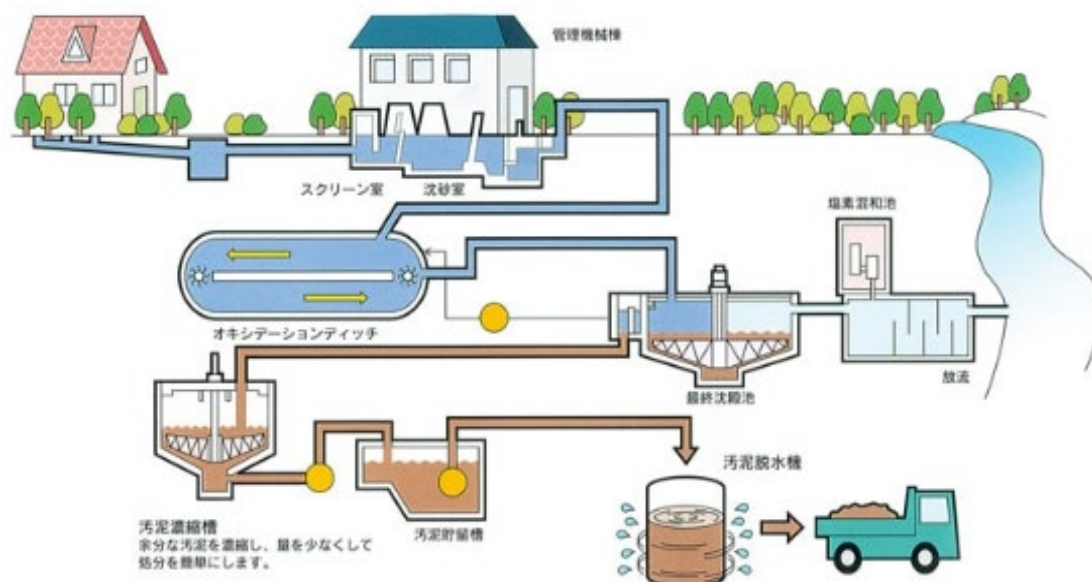


図 3-39 下水道の概略

表 3-8 下水道事業の概要

| 項目 | 内容 |
|--------|------------------------|
| 施設名 | 関ヶ原浄化センター |
| 所在地 | 関ヶ原町大字関ヶ原字皆田 |
| 計画処理人口 | 4,900 人 |
| 処理能力 | 3,400m ³ /日 |
| 水処理方法 | オキシデーションディッチ法+凝集剤添加 |
| 放流先 | 藤古川 |

イ 農業集落排水処理施設

農村部では小さな集落が分散していることが多いため、下水道よりも小規模な数集落単位で汚水を集め、処理し、農業用水路や河川に放流しています。

本町では玉処理区及び今須処理区において整備されていましたが、令和元年度に玉処理区が下水道に統合されたため、現在は今須処理区のみ稼働しています。

表 3-9 農業集落排水処理施設の概要

| 項目 | 今須処理区 |
|--------|------------------------|
| 施設名 | 今須農業集落排水処理施設 |
| 所在地 | 関ヶ原町大字今須 |
| 計画処理人口 | 1,430 人 |
| 処理能力 | 386m ³ /日平均 |
| 水処理方式 | 脱リンを考慮した連続流入間欠ばっ気方式 |
| 放出先 | 今須川 |

ウ 合併処理浄化槽及び単独処理浄化槽

浄化槽には、し尿しか処理しない単独処理浄化槽と、台所やお風呂から排水される生活雑排水をし尿と合わせて処理できる合併処理浄化槽の2種類があります。

岐阜県では、平成10年度から「岐阜県浄化槽の設置に関する指導要綱」により、新たに浄化槽を設置する場合は、合併処理浄化槽を設置するよう指導されてきましたが、その後、浄化槽法の改正により平成13年度から単独処理浄化槽の新規設置ができなくなりました。

本町では、合併処理浄化槽の普及を図るとともに、生活排水による公共用水域の水質汚濁防止と生活環境の保全を図ることを目的として、下水道及び農業集落排水の予定処理区域外において合併処理浄化槽を設置する方（個人または法人）が、補助金交付条件（補助対象及び施工審査基準）を満たす場合に、その費用の一部を補助しています。

表 3-10 合併処理浄化槽の設置補助額

| 処理対象人員 | 補助金額 |
|---------|------------|
| 5人 | 390,000円 |
| 6人～7人 | 474,000円 |
| 8人～10人 | 660,000円 |
| 11人～20人 | 1,002,000円 |
| 21人～30人 | 1,545,000円 |
| 31人～50人 | 2,129,000円 |

(3) 生活排水の処理形態別人口

本町における生活排水処理形態別人口の推移は、表 3-11 及び図 3-40 に示すとおりです。

本町は人口が減少傾向にあり、人口の 8 割が利用している公共下水道人口の減少率が特に多い状態です。そのため、生活雑排水処理率は増加と減少を繰り返しています。

また、人口減少に伴う公共下水道利用人口の減少は、処理施設の効率的な維持管理や今後の事業計画に影響を与える可能性があります。

表 3-11 生活排水処理形態別人口

| 区 分 | 単位 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|----------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 計画処理区域内人口 | 人 | 6,771 | 6,577 | 6,384 | 6,244 | 6,096 |
| 水洗化・生活雑排水処理人口 | 人 | 5,741 | 5,591 | 5,362 | 5,251 | 5,125 |
| 公共下水道人口 | 人 | 4,565 | 4,450 | 4,301 | 4,214 | 4,115 |
| 農業集落排水人口 | 人 | 599 | 584 | 595 | 584 | 568 |
| 合併処理浄化槽人口 | 人 | 577 | 557 | 466 | 453 | 442 |
| 水洗化・生活雑排水未処理人口 | 人 | 579 | 565 | 558 | 449 | 442 |
| 単独処理浄化槽人口 | 人 | 579 | 565 | 558 | 449 | 442 |
| 非水洗化人口 | 人 | 451 | 421 | 464 | 544 | 529 |
| し尿人口（汲み取り） | 人 | 451 | 421 | 464 | 544 | 529 |
| 自家処理人口 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 生活排水処理率 | % | 84.8 | 85.0 | 84.0 | 84.1 | 84.1 |

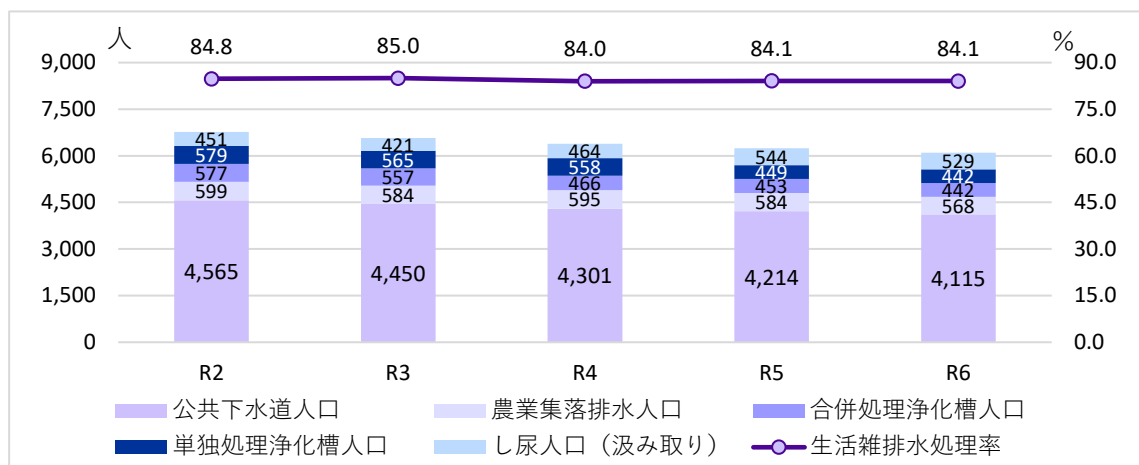


図 3-40 生活排水処理率の推移

3 前計画の目標

前計画で定めた目標の達成状況は、表 3-12 に示すとおりです。

全ての河川において、大腸菌群数の基準値超過が頻発したものの、令和 4 年度以降の大腸菌数においては、相川及び藤古川で基準を満足しています。

表 3-12 前計画の目標と実績

| 対象河川 | | 目標 | 評価 | 備考 |
|------|--------|-------------------|----|--|
| 相川 | | 水質環境基準 B 類型の達成 | △ | ・大腸菌群数が基準値を超過した年が 9 回あった |
| 黒血川 | | 水質環境基準 A 類型の達成 | △ | ・大腸菌群数は毎年基準値を超過した ・大腸菌数は、令和 5 年度及び令和 6 年 度に超過した |
| 今須川 | 谷山橋 | | △ | ・pH は平成 25 年度に超過した ・大腸菌群数は毎年基準値を超過した ・大腸菌数は、令和 6 年度に超過した |
| | 金山橋 | | △ | ・大腸菌群数は毎年基準値を超過した ・大腸菌数は、令和 6 年度に超過した |
| 梨木川 | | | △ | ・大腸菌群数及び大腸菌数は、毎年基準 値を超過した |
| 藤古川 | 藤下橋上流 | | △ | ・大腸菌群数は毎年基準値を超過した |
| | 梨木川合流前 | | △ | |
| 中狭川 | | | △ | ・pH は平成 24 年度に超過した ・大腸菌群数及び大腸菌数は、毎年基準 値を超過した |

※評価：○：達成、△：一部達成、×：未達成

第4章 生活排水対策の基本的な考え方

1 基本理念

私たちは日々の生活や事業活動の中で排水を排出しており、その汚れた排水は河川などを汚染し、環境に悪影響を与える一因になっています。

本町では、快適な生活環境の中で暮らせるまちを維持するため、引き続き、公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽整備事業により町全域の施設整備を推進します。

また、水質改善のために生活排水の適正処理を推進し、衛生的で快適な生活環境を確保するとともに、蛍や淡水魚など多様な水生生物が生息できる川であり続けることを目指します。

2 基本方針

本町は多くの河川の水源を有しているものの、生活排水処理率は84.1%にとどまり、単独浄化槽人口及び汲み取りを合わせた15.9%の生活雑排水が未処理のまま河川に排出されているため、依然として河川の水質汚濁の原因となっています。

生活排水処理施設の整備が求められていますが、整備されるまでの期間は、一人ひとりの排水に対する意識の向上を図る必要があります。

そこで、以下に示す基本方針をもとに、それぞれの施策を実行していくこととします。

基本方針 1

生活排水処理施設の整備

基本方針 2

一人ひとりの意識向上と、そのための啓発

3 目標の設定

次の2項目を目標とし、計画の進行管理を行います。

生活排水処理率 91.8% (令和12年度)

98.0% (令和17年度)

**相川の水質環境基準 B 類型
その他河川の水質環境基準 A 類型 の維持**

第5章 生活排水対策推進計画

本計画は、2つの基本方針それぞれに応じた施策を講じていきます。

基本方針 1

生活排水処理施設の整備

施策① 公共下水道の整備・接続の推進

下水道接続率の低下という課題を踏まえ、公共下水道の整備完了を目指しつつ、未接続世帯への働きかけを一層進めていきます。

施策② 合併処理浄化槽への転換の推進

未処理の生活雑排水による水質汚濁を改善するため、下水道区域外における合併処理浄化槽等への転換を促進していくこととします。

施策③ 浄化槽の適正管理

浄化槽からの処理水質を維持するため、適正な管理について啓発していきます。

基本方針 2

一人ひとりの意識向上と、そのための啓発

施策① 家庭でできる生活排水対策の促進

水質汚濁の主な原因となる家庭からの排水について、住民一人ひとりの行動変容を促します。

施策② 水環境に関する意識の高揚

住民の持続的な行動を促すため、水環境保全に関する意識啓発と理解促進を図ります。

1 生活排水処理施設の整備

本町の生活排水処理施設の整備状況は表 5-1、本町の生活排水処理率の推移は図 5-1 に示すとおりです。

本町では公共下水道の整備に取り組むとともに、下水道への接続率向上や、下水道区域以外での合併処理浄化槽の普及を進めることで、生活排水処理のさらなる推進を図っていきます。

表 5-1 生活排水処理施設の整備計画

| 区分 | 処理施設の種類 | 処理区域 | 計画処理面積 (ha) | 計画処理人口 (人) | 令和 6 年度水洗化率 (%) | 整備時期 |
|------|------------|---------|-------------|------------|-----------------|----------------------------|
| 集合処理 | 公共下水道 | 関ヶ原処理区 | 318 | 4,900 | 82.45 | — |
| | 農業集落排水処理施設 | 今須処理区 | 36 | 1,430 | 39.72 | — |
| 個別処理 | 合併処理浄化槽 | 集合処理区域外 | / | / | / | 下水道区域以外で単独処理浄化槽からの転換の促進を継続 |

過去 5 年間の本町の生活排水処理形態別人口及び生活排水処理率の推移を見ると、人口減少の影響もあって、殆どの処理形態別人口は減少傾向にあり、生活排水処理率は変動している状態です。

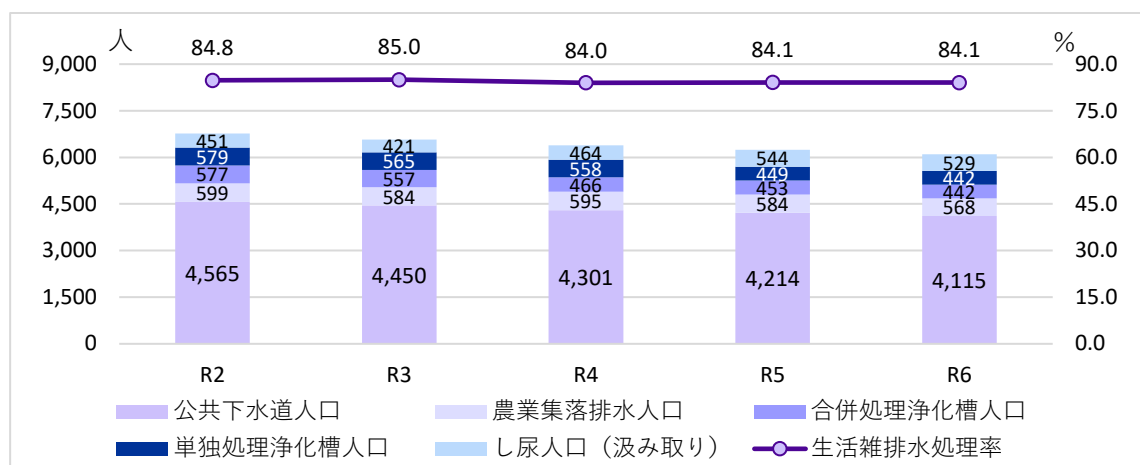


図 5-1 生活排水処理率の推移

なお、国及び県では生活排水処理率についての公表は行われていませんが、環境省・国土交通省・農林水産省の 3 省合同による汚水処理人口普及率（し尿を適切に処理する下水道や農業集落排水施設、コミュニティプラント、合併処理浄化槽及び単独処理浄化槽を利用できる人口の割合）の調査結果が参考となります。

令和 6 年度末の調査によれば、全国の汚水処理人口普及率は 93.7%、岐阜県は 94.4%ですが、本町は 97.7%と高い水準となっています。

これにより、本町では良好な汚水処理が進められていることが伺えます。

(1) 公共下水道の整備・接続の推進

本町の下水道整備については、整備状況および接続状況を表 5-2 に示しています。

本町は下水道整備計画に基づき公共下水道の整備に取り組んでおり、整備率は 92.7% と高い水準にあります。しかし、町全体の人口が減少しているのと同様に下水道利用人口も減少傾向にあることから、接続率および普及率は低下傾向にあります。また、人口の 2 割弱が下水道に接続していない状況であるため、下水道法第 10 条に基づく接続義務について理解を促し、その履行を求めていく必要があります。

表 5-2 下水道の整備状況及び接続率

| 区分 年 | 計画区域 (ha) | 整備済面積 (ha) | 整備率 (%) | 行政区域内 人口 (人) | 下水道 区域内人口 (人) | 下水道利用 人口 (人) | 接続率 (%) | 普及率 (%) |
|---------|--------------|---------------|------------|--------------------|---------------------|--------------------|------------|------------|
| R2 | 318 | 294.92 | 92.7 | 6,771 | 5,474 | 4,565 | 83.4 | 67.4 |
| R3 | 318 | 294.92 | 92.7 | 6,577 | 5,337 | 4,450 | 83.4 | 67.7 |
| R4 | 318 | 294.92 | 92.7 | 6,384 | 5,200 | 4,301 | 82.7 | 67.4 |
| R5 | 318 | 294.92 | 92.7 | 6,244 | 5,095 | 4,214 | 82.7 | 67.5 |
| R6 | 318 | 294.92 | 92.7 | 6,096 | 4,991 | 4,115 | 82.4 | 67.5 |

(2) 合併処理浄化槽への転換・普及促進

本町の下水道区域外については、単独処理浄化槽や汲み取り便槽世帯の合併処理浄化槽への転換を普及・啓発していきます。

(3) 浄化槽の適正管理

浄化槽からの処理水質を維持するためには、設置後の維持管理が重要です。

浄化槽法において浄化槽の管理者には、定期的な点検・清掃および法定検査の実施が義務づけられていることから、浄化槽の適正な管理について啓発していきます。

2 河川水辺環境の整備

住民が安全・快適に水辺とふれあうことのできる環境を創出するため、以下の具体的な取り組みを実施します。

○河川清掃活動の実施

住民・行政が協力し、定期的な河川清掃活動を行い、漂流ごみや生活排水による汚染防止に努めます。清掃活動への参加を広報し、地域環境美化への意識向上を図ります。

○河川パトロールの実施

河川およびその周辺的环境保全のため、定期的にパトロールを実施します。不法投棄や水質汚濁などの異常を早期に発見し、迅速な対応につなげます。

○水辺空間の活用促進

子どもから高齢者まで誰もが気軽に水辺空間とふれあえるよう、イベント等を計画します。

これらの取り組みを通じて、生活排水による河川環境への負荷を軽減するとともに、自然と調和した水辺空間の創出を目指します。

3 一人一人の意識向上とそのための啓発

(1) 家庭でできる生活排水対策の促進（ブルーリバー作戦の継続）

本町の生活雑排水未処理人口の割合は、約 16%です。

私たちは家庭で1日1人あたり平均 210ℓ の水を使用しており、し尿を除く生活雑排水が、全体の約 80%を占めています。その内の 16%もの生活雑排水を未処理のまま流すことは、水質汚濁の大きな原因になります。

そのことを踏まえると、各家庭で対策を講ずることは、水質汚濁防止対策を図る上で有効な手段の1つです。

私たちの日常のちょっとした心がけが川をきれいにします。小さなことでも一人ひとりが身近なところから取り組むことができるように、これからもブルーリバー作戦を継続し、家庭でできる生活排水対策について啓発活動を行い、取り組みを促進していきます。

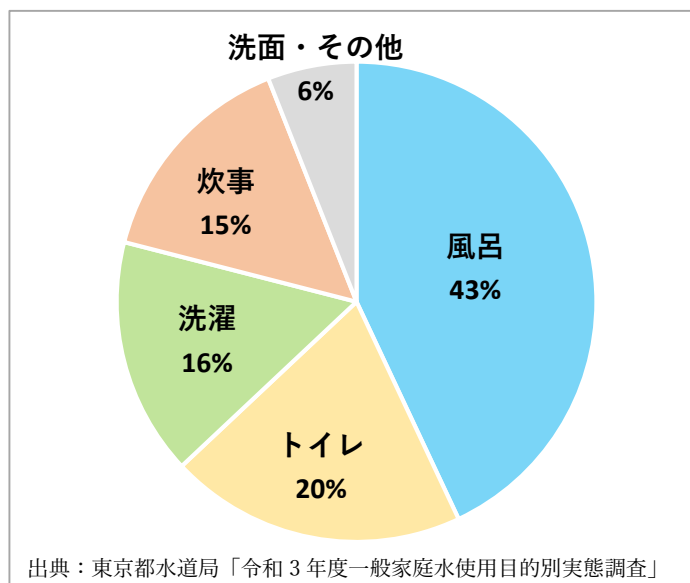


図 5-2 家庭での水の使われ方

ア 台所での対策

- ① 目の細かい水切りネットを使用し、調理くずを流さないように工夫します。
- ② 揚げ物に使った油は、炒め物に再利用します。さらに残った油は、固化材や新聞等にしみ込ませて可燃物として燃えるごみに出します。
- ③ 汚れのひどい食器は、キッチンスクレーパーや紙等で拭き取ってから洗います。
- ④ 米のとぎ汁は、植木や家庭菜園などの水やりに利用します。
- ⑤ 料理の作り過ぎ、食べ残しが出ないように工夫します。
- ⑥ 洗剤は適量を使用し、使いすぎに注意します。

イ 洗濯・入浴時の対策

- ① 洗剤は計量カップを用いて適量を使用し、使いすぎに注意します。
- ② 汚れがひどいものについては、あらかじめ部分洗いするなどして、洗剤を極力使用しないように工夫します。
- ③ 風呂の残り湯を洗濯用として再利用します。残り湯は、翌朝でも温度を保っていますので洗浄力が高く効果的です。
- ④ シャンプー、リンス、歯磨き粉等も汚濁負荷の要因となるため、使用量を控えます。

ウ その他の対策

- ① 洗車排水は、側溝などを通じて直接河川に流入します。洗車にはバケツを利用し、洗剤は控えめにします。
- ② 下水道が整備された地域では、早期に下水道への接続を行います。
- ③ 浄化槽を設置している場合は、定められている保守点検、清掃、法定検査を適正に行います。

(2) 水環境に関する意識の高揚

住民一人ひとりが継続して行動し続けていくため、水環境に関する関心を高めていくことは、非常に重要です。

環境教育や啓発活動等を通じて関心を高めつつ、河川水質調査も継続して行い、調査結果の公表も実施します。

4 その他の水質改善策の推進

(1) 水質モニタリングの実施

本町では河川の水質を把握するため、定期的な調査を継続していきます。

水質の変化を継続的に把握し、生活排水等による水環境への影響を監視することで、早期の対策や地域住民への情報提供を行い、異常値を検知した場合は速やかに原因究明と対応策を講じ、河川環境の健全な維持に努めます。

(2) 廃食用油の回収

家庭や事業所から排出される廃食用油について、町内の拠点回収拠点 ecos(エコス)での回収活動を実施しています。

適正な回収・リサイクルの推進により、排水口への直接流出を防止し、汚水処理負荷の軽減および河川の水質保全に寄与しつつ、また、住民への周知広報活動を通じて、廃食用油の分別・リサイクル協力への参加を促進します。

5 関連部局の調整・近隣市町との協力

牧田川には本町だけでなく、流域市町の生活排水や雨水等も流れ込むため、河川の浄化対策は本町が単独で実施してもその効果を十分に得ることはできません。

流域全体の生活排水対策を推進するためにも、流域の自治体と協力し、集合排水処理の普及などの取り組みを進めていきます。

6 汚濁負荷量の算定

生活排水対策を推進することにより削減可能な汚濁物質の負荷量を明らかにすることは、本計画をより効果的に実施するとともに、計画の進捗を確認するうえで重要です。そこで、河川水質の代表的な指標である BOD を対象として、現況（令和 2 年度～令和 6 年度）及び将来（令和 12 年度及び令和 17 年度）の発生負荷量の算定を行いました。

BOD 汚濁負荷量は、生活系、事業系、自然系および畜産系に分けて、現況と将来の発生負荷量の算定を行いました。算定結果は、表 5-3 及び図 5-3 に示すとおりです。

表 5-3 BOD 汚濁負荷量の算定結果

単位：kg/日

| 項目 | | 実績 | | | | | 中間年度 | 目標年度 |
|-----------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| | | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R12 | R17 |
| 生活系 | 公共下水道 | 3.6 | 3.7 | 2.7 | 2.5 | 2.1 | 2.2 | 2.1 |
| | 農業集落排水処理施設 | 0.3 | 0.2 | 0.1 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.1 |
| | 合併処理浄化槽 | 2.5 | 2.4 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | 1.7 | 1.6 |
| | 単独処理浄化槽 | 2.6 | 2.6 | 2.5 | 2.0 | 2.0 | 0.9 | 0.2 |
| | 合計 | 9.0 | 8.9 | 7.3 | 6.6 | 6.2 | 5.0 | 4.0 |
| 事業系 | 届出排出事業者 | 18.3 | 18.3 | 18.3 | 18.3 | 18.3 | 18.3 | 18.3 |
| 自然系 | 水田 | 20.6 | 20.5 | 20.3 | 20.1 | 19.9 | 18.9 | 18.1 |
| | 畑 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 |
| | 合計 | 21.1 | 21.0 | 20.8 | 20.6 | 20.4 | 19.4 | 18.6 |
| 畜産系 | 牛 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 豚 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 合計 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 合計 | | 48.5 | 48.3 | 46.5 | 45.6 | 44.9 | 42.7 | 40.9 |
| 令和6年度を100%とした割合 | | 108.0 | 107.6 | 103.6 | 101.6 | 100.0 | 95.1 | 91.1 |

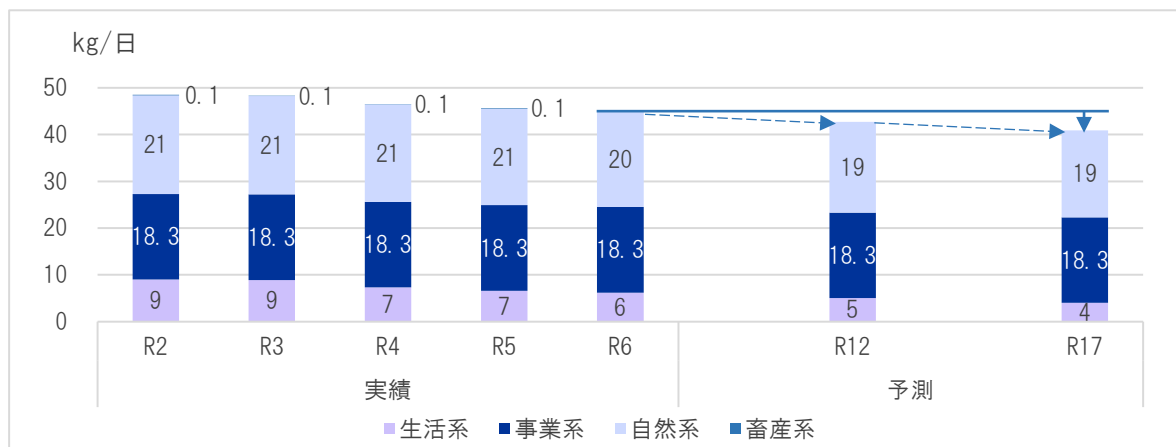


図 5-3 BOD 汚濁負荷量の推移

7 計画のフォローアップ

計画の進捗状況を確認するため、定期的に現状を把握し、目標の達成状況等についてフォローアップを行います。

その結果、進捗が十分でない場合は、必要に応じて対策を検討し、実施していきます。また、計画の前提となる諸条件が今後の社会状況等と整合しているかを継続的に確認し、大きな変更が生じた場合は、必要に応じて見直しを行います。

資料 1 河川水質調査の結果

本町では、相川、黒血川、今須川、梨木川、藤古川及び中狭川において河川水質調査を毎年 4 回実施しています。

平成 21 年度からの水質調査結果は、資料 1-1～1-8 のとおりです。

表中の数字は各年度における平均値（BOD は 75% 値、大腸菌数は最大値）を、（ ）内の数字は最小値と最大値を示している。

なお、定量下限値未満のデータについては、定量下限値の数値として取り扱い、平均値を算出した。

資料1-1(1) No.1相川 (合川橋) 水質検査結果(H21~H28)

| 項目 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|--------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| pH | 7.4 (7.2 ~ 7.5) | 7.2 (7.2 ~ 7.2) | 7.2 (7.1 ~ 7.3) | 7.1 (6.6 ~ 7.4) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.8) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) |
| COD mg/L | 0.8 (0.5未満 ~ 1.1) | 1.3 (1.2 ~ 1.4) | 1.1 (0.8 ~ 1.3) | 1.0 (0.9 ~ 1.0) |
| SS mg/L | 1 (1未満 ~ 2) | 2 (1未満 ~ 3) | 1 (1未満 ~ 1) | 1 (1未満 ~ 1) |
| DO mg/L | 9.8 (7.1 ~ 12) | 9.9 (8.2 ~ 12) | 9.5 (7.4 ~ 12) | 10 (8 ~ 13) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 5,300 (330 ~ 11,000) | 3,900 (790 ~ 7,900) | 4,000 (490 ~ 7,900) | 2,600 (20 ~ 7,900) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.9 (0.7 ~ 1.1) | 1.1 (1.0 ~ 1.3) | 0.9 (0.8 ~ 1.1) | 0.9 (0.7 ~ 1.1) |
| 全リン mg/L | 0.026 (0.019 ~ 0.034) | 0.026 (0.010 ~ 0.036) | 0.024 (0.017 ~ 0.029) | 0.024 (0.022 ~ 0.027) |
| 項目 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| pH | 7.3 (7.1 ~ 7.4) | 7.3 (7.1 ~ 7.4) | 7.3 (7.2 ~ 7.5) | 7.4 (7.1 ~ 7.5) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) |
| COD mg/L | 0.8 (0.5未満 ~ 0.9) | 1.2 (1.0 ~ 1.3) | 1.3 (0.9 ~ 1.8) | 1.2 (0.9 ~ 1.4) |
| SS mg/L | 1 (1未満 ~ 1) | 1 (1未満 ~ 1) | 1 (1未満 ~ 2) | 2 (1未満 ~ 3) |
| DO mg/L | 9.9 (8.1 ~ 13) | 11 (9.4 ~ 13) | 9.7 (8.5 ~ 12) | 9.9 (8.4 ~ 12) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 2,700 (330 ~ 4,900) | 7,400 (330 ~ 22,000) | 8,600 (1,300 ~ 17,000) | 5,100 (490 ~ 7,900) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.8 (0.5 ~ 1.0) | 0.9 (0.8 ~ 1.0) | 0.9 (0.9 ~ 1.0) | 0.9 (0.8 ~ 1.0) |
| 全リン mg/L | 0.023 (0.019 ~ 0.027) | 0.024 (0.015 ~ 0.030) | 0.027 (0.021 ~ 0.031) | 0.025 (0.02未満 ~ 0.030) |

資料1-1(2) No.1相川(合川橋)水質検査結果(H29~R6)

| 項目 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|--------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| pH | 7.3 (7.1 ~ 7.4) | 7.3 (7.1 ~ 7.5) | 7.4 (7.2 ~ 7.5) | 7.5 (7.4 ~ 7.6) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) | 0.6 (0.5未満 ~ 0.7) | 0.5 (0.5未満 ~ 1.0) |
| COD mg/L | 1.1 (1.0 ~ 1.3) | 1.0 (0.5未満 ~ 1.4) | 1.2 (0.8 ~ 1.7) | 1.2 (0.8 ~ 1.6) |
| SS mg/L | 1 (1 ~ 2) | 1 (1未満 ~ 1) | 1 (1未満 ~ 1) | 1 (1未満 ~ 2) |
| DO mg/L | 10 (8.2 ~ 13) | 10 (8.3 ~ 12) | 10 (8.7 ~ 12) | 12 (9.5 ~ 17) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 7,100 (490 ~ 13,000) | 7,500 (330 ~ 17,000) | 8,600 (1,100 ~ 17,000) | 9,500 (790 ~ 22,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.9 (0.7 ~ 1.0) | 0.9 (0.7 ~ 1.0) | 0.9 (0.7 ~ 1.1) | 0.8 (0.6 ~ 0.9) |
| 全リン mg/L | 0.023 (0.02未満 ~ 0.030) | 0.023 (0.02未満 ~ 0.030) | 0.028 (0.02未満 ~ 0.030) | 0.023 (0.02未満 ~ 0.030) |
| 項目 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| pH | 7.4 (7.3 ~ 7.6) | 7.1 (6.9 ~ 7.2) | 7.2 (7.1 ~ 7.3) | 7.2 (7.1 ~ 7.3) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) | 0.6 (0.5未満 ~ 0.7) | 0.5 (0.5未満 ~ 0.5) | 0.5 (0.5未満 ~ 0.5) |
| COD mg/L | 1.1 (0.9 ~ 1.3) | 1.0 (0.5 ~ 1.3) | 1.1 (0.9 ~ 1.3) | 1.1 (0.9 ~ 1.3) |
| SS mg/L | 1 (1未満 ~ 2) | 1 (1未満 ~ 1) | 1 (1未満 ~ 2) | 1 (1未満 ~ 2) |
| DO mg/L | 11 (8.4 ~ 13) | 11 (8.2 ~ 14) | 10 (8.8 ~ 12) | 10 (8.8 ~ 12) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 14,000 (4,900 ~ 23,000) | | | |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | 160 (54 ~ 160) | 270 (5 ~ 270) | 270 (5 ~ 270) |
| 全窒素 mg/L | 0.8 (0.7 ~ 1.1) | 0.8 (0.8 ~ 0.9) | 0.7 (0.6 ~ 0.8) | 0.7 (0.6 ~ 0.8) |
| 全リン mg/L | 0.023 (0.02未満 ~ 0.030) | 0.030 (0.02未満 ~ 0.040) | 0.025 (0.02未満 ~ 0.030) | 0.025 (0.02未満 ~ 0.030) |

資料1-2(1) No.2黒血川（資源物ストックヤード下流）水質検査結果(H21～H28)

| 項目 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|--------------------|----------------------------|-----------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| pH | 7.7 (7.4 ~ 7.8) | 7.5 (7.3 ~ 7.6) | 7.3 (7.0 ~ 7.4) | 7.3 (6.7 ~ 7.7) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.7) | 0.5 (0.5未満 ~ 0.8) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.5 (0.5未満 ~ 0.6) |
| COD mg/L | 1.6 (1.3 ~ 2.0) | 2.2 (1.7 ~ 2.7) | 2.4 (1.6 ~ 3.8) | 2.4 (1.5 ~ 3.5) |
| SS mg/L | 2 (1未満 ~ 3) | 4 (2 ~ 8) | 5 (2 ~ 11) | 2 (1 ~ 3) |
| DO mg/L | 11 (7.4 ~ 13) | 10 (7.9 ~ 13) | 9.6 (7.2 ~ 12) | 10 (8.2 ~ 13) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 9,900 (490 ~ 35,000) | 5,700 (130 ~ 16,000) | 20,000 (2,400 ~ 54,000) | 8,400 (330 ~ 24,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.4 (0.3 ~ 0.5) | 0.5 (0.4 ~ 0.8) | 0.6 (0.4 ~ 0.8) | 0.6 (0.5 ~ 0.9) |
| 全リン mg/L | 0.020 (0.016 ~ 0.027) | 0.026 (0.024 ~ 0.030) | 0.030 (0.017 ~ 0.056) | 0.026 (0.010 ~ 0.055) |
| 項目 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| pH | 7.7 (7.4 ~ 7.9) | 7.6 (7.3 ~ 7.8) | 7.6 (7.5 ~ 7.7) | 7.6 (7.4 ~ 7.8) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) | 0.6 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.7) |
| COD mg/L | 2.1 (1.1 ~ 3.2) | 1.9 (1.1 ~ 3.3) | 2.3 (1.4 ~ 2.8) | 2.1 (1.5 ~ 2.5) |
| SS mg/L | 1 (1未満 ~ 2) | 2 (1 ~ 2) | 5 (3 ~ 6) | 3 (1 ~ 4) |
| DO mg/L | 9.4 (8.5 ~ 11) | 10 (9.2 ~ 13) | 10 (8.9 ~ 13) | 9.4 (8.2 ~ 11) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 6,900 (330 ~ 13,000) | 31,000 (170 ~ 110,000) | 9,100 (1,400 ~ 13,000) | 9,400 (790 ~ 22,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.3 (0.3 ~ 0.4) | 0.4 (0.3 ~ 0.4) | 0.5 (0.3 ~ 0.6) | 0.6 (0.5 ~ 0.6) |
| 全リン mg/L | 0.023 (0.012 ~ 0.029) | 0.022 (0.013 ~ 0.037) | 0.029 (0.019 ~ 0.039) | 0.023 (0.02未満 ~ 0.030) |

資料1-2(2) No.2黒血川（資源物ストックヤード下流）水質検査結果(H29～R6)

| 項目 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|--------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| pH | 7.7 (7.5 ~ 7.7) | 7.7 (7.6 ~ 7.7) | 7.7 (7.5 ~ 7.8) | 7.5 (7.2 ~ 7.8) |
| BOD mg/L | 0.8 (0.5 ~ 1.0) | 0.7 (0.5未満 ~ 0.8) | 0.8 (0.5 ~ 0.8) | 0.6 (0.5未満 ~ 0.8) |
| COD mg/L | 2.5 (1.4 ~ 3.5) | 3.1 (1.8 ~ 3.7) | 2.5 (1.7 ~ 2.8) | 2.0 (1.4 ~ 2.8) |
| SS mg/L | 11 (1 ~ 38) | 8 (3 ~ 14) | 3 (2 ~ 5) | 2 (2 ~ 3) |
| DO mg/L | 10 (8 ~ 13) | 10 (8.6 ~ 13) | 11 (9.3 ~ 13) | 11 (9.1 ~ 15) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 13,000 (140 ~ 23,000) | 21,000 (490 ~ 70,000) | 54,000 (790 ~ 170,000) | 15,000 (330 ~ 33,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.7 (0.6 ~ 0.8) | 0.8 (0.6 ~ 1.1) | 0.7 (0.7 ~ 0.7) | 0.5 (0.4 ~ 0.7) |
| 全リン mg/L | 0.030 (0.02未満 ~ 0.050) | 0.038 (0.020 ~ 0.060) | 0.040 (0.02未満 ~ 0.060) | 0.025 (0.02未満 ~ 0.030) |
| 項目 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| pH | 7.6 (7.2 ~ 7.8) | 7.5 (7.4 ~ 7.6) | 7.6 (7.3 ~ 7.8) | 7.6 (7.3 ~ 7.8) |
| BOD mg/L | 0.7 (0.5未満 ~ 0.8) | 0.5 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.5 (0.5未満 ~ 0.5) | 0.5 (0.5未満 ~ 0.5) |
| COD mg/L | 2.0 (1.8 ~ 2.7) | 2.1 (1.3 ~ 2.9) | 1.8 (1.6 ~ 2.2) | 1.8 (1.6 ~ 2.2) |
| SS mg/L | 3 (2 ~ 5) | 2 (1 ~ 4) | 2 (1 ~ 3) | 2 (1 ~ 3) |
| DO mg/L | 11 (7.8 ~ 14) | 10 (8.7 ~ 13) | 10 (8.5 ~ 13) | 10 (8.5 ~ 13) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 14,000 (790 ~ 28,000) | | | |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | 200 (18 ~ 200) | 540 (17 ~ 540) | 480 (17 ~ 480) |
| 全窒素 mg/L | 0.6 (0.5 ~ 0.8) | 0.6 (0.5 ~ 0.6) | 0.6 (0.3 ~ 1.0) | 0.6 (0.3 ~ 1.0) |
| 全リン mg/L | 0.023 (0.02未満 ~ 0.030) | 0.028 (0.02未満 ~ 0.050) | 0.020 (0.02未満 ~ 0.020) | 0.020 (0.02未満 ~ 0.020) |

資料1-3(1) No.3今須川(谷山橋)水質検査結果(H21~H28)

| 項目 | H21* | H22 | H23 | H24 |
|--------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| pH | 7.4 (7.3 ~ 7.4) | 7.9 (7.5 ~ 8.3) | 7.7 (7.1 ~ 8.2) | 7.9 (7.2 ~ 8.4) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.9) | 0.7 (0.5未満 ~ 1.4) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) |
| COD mg/L | 0.9 (0.5未満 ~ 1.4) | 1.5 (1.3 ~ 1.7) | 1.4 (1.2 ~ 1.6) | 2.3 (1.1 ~ 3.9) |
| SS mg/L | 1 (1未満 ~ 1) | 2 (1 ~ 2) | 2 (1未満 ~ 2) | 3 (1未満 ~ 5) |
| DO mg/L | 10 (7.3 ~ 12) | 10 (8.6 ~ 13) | 10 (7.6 ~ 12) | 10 (8.9 ~ 13) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 4,600 (330 ~ 13,000) | 3,800 (1,700 ~ 7,900) | 5,200 (490 ~ 13,000) | 4,100 (490 ~ 13,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 1.1 (1.1 ~ 1.2) | 1.1 (0.9 ~ 1.3) | 1.0 (0.9 ~ 1.2) | 1.0 (0.8 ~ 1.2) |
| 全リン mg/L | 0.036 (0.024 ~ 0.044) | 0.034 (0.018 ~ 0.046) | 0.039 (0.030 ~ 0.052) | 0.055 (0.024 ~ 0.099) |
| 項目 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| pH | 8.7 (7.6 ~ 9.3) | 7.8 (7.5 ~ 8.5) | 7.8 (6.7 ~ 9.0) | 8.2 (7.6 ~ 9.3) |
| BOD mg/L | 0.7 (0.5未満 ~ 0.8) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 1.0) |
| COD mg/L | 1.4 (0.8 ~ 1.9) | 1.0 (0.5未満 ~ 1.7) | 1.4 (1.2 ~ 1.8) | 1.4 (1.0 ~ 2.2) |
| SS mg/L | 2 (1未満 ~ 3) | 2 (1未満 ~ 3) | 2 (1未満 ~ 3) | 1 (1未満 ~ 2) |
| DO mg/L | 11 (9.8 ~ 13) | 10 (9 ~ 13) | 10 (8.7 ~ 13) | 10 (7.8 ~ 12) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 3,500 (230 ~ 7,000) | 4,800 (130 ~ 11,000) | 5,000 (1,800 ~ 7,900) | 5,200 (790 ~ 17,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.8 (0.6 ~ 1.0) | 0.8 (0.7 ~ 1.0) | 0.9 (0.7 ~ 1.2) | 0.8 (0.6 ~ 0.9) |
| 全リン mg/L | 0.034 (0.021 ~ 0.051) | 0.031 (0.022 ~ 0.043) | 0.037 (0.030 ~ 0.042) | 0.030 (0.020 ~ 0.050) |

※平成21年度は小貝戸橋で採水

資料1-3(2) No.3今須川(谷山橋)水質検査結果(H29~R6)

| 項目 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|--------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| pH | 8.1 (7.6 ~ 8.7) | 8.2 (7.7 ~ 8.6) | 7.9 (7.8 ~ 8.0) | 7.9 (7.2 ~ 8.8) |
| BOD mg/L | 0.7 (0.5未満 ~ 0.7) | 0.6 (0.5未満 ~ 1.7) | 0.7 (0.5未満 ~ 0.7) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 1.0) |
| COD mg/L | 1.1 (0.7 ~ 1.3) | 1.6 (0.9 ~ 2.4) | 1.2 (1.1 ~ 1.4) | 1.2 (0.9 ~ 1.9) |
| SS mg/L | 2 (1未満 ~ 3) | 1 (1未満 ~ 1) | 1 (1未満 ~ 2) | 1 (1未満 ~ 2) |
| DO mg/L | 11 (9 ~ 14) | 11 (9.2 ~ 13) | 11 (9.4 ~ 13) | 11 (9.8 ~ 15) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 4,600 (140 ~ 11,000) | 4,200 (330 ~ 11,000) | 4,700 (330 ~ 13,000) | 5,000 (330 ~ 13,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.8 (0.6 ~ 0.9) | 0.8 (0.7 ~ 0.9) | 0.9 (0.9 ~ 0.9) | 0.8 (0.5 ~ 1.0) |
| 全リン mg/L | 0.030 (0.02未満 ~ 0.040) | 0.033 (0.020 ~ 0.040) | 0.028 (0.020 ~ 0.030) | 0.025 (0.02未満 ~ 0.030) |
| 項目 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| pH | 8.0 (7.4 ~ 8.8) | 7.7 (7.5 ~ 8.0) | 8.1 (7.6 ~ 8.4) | 8.1 (7.6 ~ 8.4) |
| BOD mg/L | 0.5 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.7 (0.5未満 ~ 0.9) | 0.5 (0.5未満 ~ 0.7) | 0.5 (0.5未満 ~ 0.7) |
| COD mg/L | 1.1 (0.8 ~ 1.3) | 1.0 (0.5 ~ 1.5) | 1.2 (1.1 ~ 1.3) | 1.2 (1.1 ~ 1.3) |
| SS mg/L | 1 (1未満 ~ 1) | 2 (1未満 ~ 3) | 1 (1未満 ~ 1) | 1 (1未満 ~ 1) |
| DO mg/L | 11 (8.5 ~ 14) | 11 (9.3 ~ 14) | 10 (9 ~ 13) | 10 (9 ~ 13) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 7,900 (490 ~ 17,000) | | | |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | 240 (63 ~ 240) | 290 (57 ~ 290) | 320 (57 ~ 320) |
| 全窒素 mg/L | 0.8 (0.6 ~ 1.1) | 0.8 (0.6 ~ 0.9) | 0.7 (0.5 ~ 0.8) | 0.7 (0.5 ~ 0.8) |
| 全リン mg/L | 0.025 (0.02未満 ~ 0.030) | 0.035 (0.02未満 ~ 0.050) | 0.030 (0.020 ~ 0.040) | 0.030 (0.020 ~ 0.040) |

資料1-4(1) No.4今須川(金山橋)水質検査結果(H21~H28)

| 項目 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|--------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| pH | 7.7 (7.5 ~ 7.7) | 7.7 (7.7 ~ 7.8) | 7.5 (7.2 ~ 7.7) | 7.4 (6.8 ~ 7.7) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.9) | 0.5 (0.5未満 ~ 0.7) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) |
| COD mg/L | 0.8 (0.5未満 ~ 1.3) | 1.4 (1.2 ~ 1.7) | 1.3 (0.9 ~ 1.7) | 1.3 (1.0 ~ 1.7) |
| SS mg/L | 1 (1未満 ~ 1) | 2 (1 ~ 2) | 1 (1未満 ~ 2) | 1 (1未満 ~ 1) |
| DO mg/L | 11 (7.6 ~ 13) | 10 (8 ~ 13) | 9.6 (7.5 ~ 12) | 9.9 (8.1 ~ 13) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 3,500 (790 ~ 11,000) | 3,000 (490 ~ 7,900) | 3,300 (1,300 ~ 5,400) | 4,200 (700 ~ 7,900) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 1.1 (0.9 ~ 1.2) | 1.0 (0.9 ~ 1.2) | 1.0 (0.9 ~ 1.1) | 0.9 (0.8 ~ 1.0) |
| 全リン mg/L | 0.032 (0.024 ~ 0.036) | 0.032 (0.016 ~ 0.044) | 0.034 (0.028 ~ 0.043) | 0.038 (0.025 ~ 0.056) |
| 項目 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| pH | 7.9 (7.5 ~ 8.1) | 7.6 (7.5 ~ 7.8) | 7.7 (7.1 ~ 8.0) | 7.8 (7.6 ~ 8.1) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 1.0) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5) |
| COD mg/L | 1.1 (0.5未満 ~ 1.4) | 1.0 (0.5未満 ~ 1.3) | 1.3 (1.0 ~ 1.5) | 1.3 (1.1 ~ 1.5) |
| SS mg/L | 2 (1未満 ~ 3) | 2 (1未満 ~ 3) | 1 (1未満 ~ 2) | 1 (1未満 ~ 2) |
| DO mg/L | 9.9 (8.4 ~ 13) | 10 (8.5 ~ 13) | 10 (8.4 ~ 13) | 9.9 (8.6 ~ 12) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 2,000 (170 ~ 3,300) | 9,700 (4,900 ~ 14,000) | 7,800 (140 ~ 28,000) | 3,200 (490 ~ 7,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.7 (0.6 ~ 0.7) | 0.8 (0.8 ~ 0.9) | 0.8 (0.6 ~ 1.1) | 0.8 (0.7 ~ 0.9) |
| 全リン mg/L | 0.034 (0.025 ~ 0.043) | 0.033 (0.026 ~ 0.042) | 0.035 (0.025 ~ 0.040) | 0.033 (0.020 ~ 0.050) |

資料1-4(2) No.4今須川(金山橋)水質検査結果(H29~R6)

| 項目 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|--------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| pH | 7.8 (7.5 ~ 8.1) | 7.8 (7.6 ~ 7.9) | 7.8 (7.7 ~ 7.9) | 7.7 (7.3 ~ 8.1) |
| BOD mg/L | 0.6 (0.5未満 ~ 1.3) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.9) | 0.5 (0.5未満 ~ 0.7) | 0.5 (0.5未満 ~ 0.9) |
| COD mg/L | 1.0 (0.6 ~ 1.3) | 1.1 (0.9 ~ 1.3) | 1.1 (0.9 ~ 1.3) | 1.1 (0.8 ~ 1.7) |
| SS mg/L | 1 (1未満 ~ 1) | 1 (1未満 ~ 1未満) | 1 (1未満 ~ 1未満) | 1 (1未満 ~ 1) |
| DO mg/L | 10 (8.4 ~ 13) | 10 (8.7 ~ 12) | 11 (9.7 ~ 13) | 11 (8.3 ~ 15) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 2,000 (68 ~ 3,300) | 2,600 (78 ~ 4,900) | 8,100 (230 ~ 22,000) | 4,100 (220 ~ 7,900) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.8 (0.6 ~ 0.9) | 0.8 (0.7 ~ 0.9) | 0.9 (0.8 ~ 0.9) | 0.8 (0.6 ~ 1.0) |
| 全リン mg/L | 0.030 (0.02未満 ~ 0.040) | 0.025 (0.020 ~ 0.030) | 0.028 (0.020 ~ 0.030) | 0.025 (0.02未満 ~ 0.030) |
| 項目 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| pH | 7.7 (7.4 ~ 7.9) | 7.7 (7.5 ~ 7.9) | 7.7 (7.6 ~ 7.8) | 7.7 (7.6 ~ 7.8) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5) | 0.7 (0.5 ~ 0.7) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.6) |
| COD mg/L | 0.9 (0.5 ~ 1.2) | 0.9 (0.5未満 ~ 1.4) | 1.0 (0.9 ~ 1.2) | 1.0 (0.9 ~ 1.2) |
| SS mg/L | 1 (1未満 ~ 1) | 1 (1未満 ~ 1) | 1 (1未満 ~ 2) | 1 (1未満 ~ 2) |
| DO mg/L | 11 (8.5 ~ 14) | 11 (8.7 ~ 14) | 10 (8.7 ~ 13) | 10 (8.7 ~ 13) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 5,600 (680 ~ 17,000) | | | |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | 220 (84 ~ 220) | 180 (10 ~ 180) | 570 (10 ~ 570) |
| 全窒素 mg/L | 0.8 (0.6 ~ 1.1) | 0.8 (0.7 ~ 0.9) | 0.8 (0.6 ~ 0.9) | 0.8 (0.6 ~ 0.9) |
| 全リン mg/L | 0.023 (0.02未満 ~ 0.030) | 0.033 (0.02未満 ~ 0.050) | 0.030 (0.02未満 ~ 0.040) | 0.030 (0.02未満 ~ 0.040) |

資料1-5(1) No.5梨木川（藤古川合流前）水質検査結果(H21～H28)

| 項目 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|--------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| pH | 7.4 (7.3 ~ 7.5) | 7.3 (7.3 ~ 7.4) | 7.4 (7.1 ~ 7.5) | 7.3 (6.8 ~ 7.5) |
| BOD mg/L | 0.7 (0.6 ~ 1.2) | 0.9 (0.5未満 ~ 1.1) | 0.7 (0.5未満 ~ 1.0) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 1.4) |
| COD mg/L | 2.2 (1.8 ~ 2.5) | 2.4 (1.9 ~ 2.9) | 2.0 (1.1 ~ 2.9) | 2.4 (1.5 ~ 4.2) |
| SS mg/L | 1 (1未満 ~ 1) | 3 (1 ~ 8) | 2 (1未満 ~ 3) | 3 (1未満 ~ 9) |
| DO mg/L | 10 (7.5 ~ 12) | 9.6 (7.9 ~ 12) | 9.2 (7.2 ~ 12) | 9.3 (8 ~ 12) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 6,500 (2,200 ~ 11,000) | 5,500 (2,400 ~ 9,200) | 8,700 (790 ~ 17,000) | 12,000 (1,100 ~ 17,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 2.4 (2.3 ~ 2.5) | 2.0 (1.8 ~ 2.2) | 1.6 (0.8 ~ 2.6) | 1.6 (1.3 ~ 2.2) |
| 全リン mg/L | 0.031 (0.027 ~ 0.034) | 0.032 (0.026 ~ 0.036) | 0.034 (0.023 ~ 0.057) | 0.039 (0.026 ~ 0.057) |
| 項目 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| pH | 7.4 (7.1 ~ 7.5) | 7.4 (7.4 ~ 7.5) | 7.5 (7.1 ~ 7.9) | 7.6 (7.5 ~ 7.8) |
| BOD mg/L | 0.6 (0.6 ~ 0.6) | 0.7 (0.5未満 ~ 0.9) | 0.7 (0.5 ~ 0.8) | 0.8 (0.5未満 ~ 2.0) |
| COD mg/L | 2.1 (1.7 ~ 2.3) | 1.9 (1.5 ~ 2.6) | 2.3 (2.0 ~ 2.4) | 2.8 (1.5 ~ 5.0) |
| SS mg/L | 2 (1未満 ~ 2) | 1 (1未満 ~ 2) | 3 (1 ~ 5) | 3 (1 ~ 4) |
| DO mg/L | 9.3 (8 ~ 12) | 9.8 (8.7 ~ 12) | 9.9 (8.5 ~ 13) | 9.5 (8.1 ~ 11) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 9,500 (790 ~ 17,000) | 12,000 (3,300 ~ 17,000) | 18,000 (13,000 ~ 28,000) | 15,000 (1,300 ~ 33,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 1.5 (1.2 ~ 2.0) | 1.7 (1.2 ~ 2.1) | 1.7 (1.4 ~ 1.9) | 1.5 (1.2 ~ 1.8) |
| 全リン mg/L | 0.034 (0.027 ~ 0.040) | 0.025 (0.022 ~ 0.027) | 0.030 (0.027 ~ 0.033) | 0.025 (0.02未満 ~ 0.040) |

資料1-5(2) No.5梨木川(藤古川合流前)水質検査結果(H29~R6)

| 項目 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|--------------------|------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| pH | 7.5 (7.4 ~ 7.6) | 7.8 (7.4 ~ 8.9) | 7.6 (7.4 ~ 7.7) | 7.5 (7.2 ~ 7.7) |
| BOD mg/L | 0.8 (0.7 ~ 1.1) | 0.6 (0.5 ~ 0.6) | 0.8 (0.6 ~ 1.1) | 1.0 (0.5未満 ~ 1.0) |
| COD mg/L | 2.2 (1.6 ~ 2.8) | 2.0 (1.5 ~ 2.4) | 1.9 (1.6 ~ 2.3) | 1.9 (1.4 ~ 2.9) |
| SS mg/L | 2 (1 ~ 5) | 1 (1未満 ~ 1) | 2 (1未満 ~ 2) | 2 (1 ~ 2) |
| DO mg/L | 9.9 (8.1 ~ 13) | 9.9 (8.3 ~ 12) | 9.8 (7.9 ~ 12) | 11 (8.8 ~ 15) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 13,000 (7,900 ~ 17,000) | 16,000 (790 ~ 49,000) | 22,000 (2,200 ~ 49,000) | 21,000 (790 ~ 49,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 1.6 (1.2 ~ 1.9) | 1.5 (1.1 ~ 1.9) | 1.5 (1.2 ~ 2.0) | 1.4 (1.0 ~ 1.8) |
| 全リン mg/L | 0.023 (0.02未満 ~ 0.030) | 0.023 (0.02未満 ~ 0.030) | 0.02未満 (0.02未満 ~ 0.02未満) | 0.023 (0.02未満 ~ 0.030) |
| 項目 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| pH | 7.6 (7.4 ~ 7.7) | 7.3 (7.2 ~ 7.4) | 7.5 (7.4 ~ 7.5) | 7.5 (7.4 ~ 7.5) |
| BOD mg/L | 0.6 (0.6 ~ 1.0) | 0.9 (0.5 ~ 1.0) | 0.6 (0.6 ~ 0.8) | 0.6 (0.6 ~ 0.8) |
| COD mg/L | 1.6 (1.5 ~ 1.8) | 1.5 (1.3 ~ 1.9) | 1.7 (1.5 ~ 1.8) | 1.7 (1.5 ~ 1.8) |
| SS mg/L | 2 (1未満 ~ 2) | 2 (1未満 ~ 5) | 2 (1未満 ~ 2) | 2 (1未満 ~ 2) |
| DO mg/L | 10 (8.3 ~ 13) | 10 (8.9 ~ 13) | 9.8 (8.2 ~ 12) | 9.8 (8.2 ~ 12) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 15,000 (1,300 ~ 33,000) | | | |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | 2,200 (160 ~ 2,200) | 500 (99 ~ 500) | 490 (99 ~ 490) |
| 全窒素 mg/L | 1.5 (1.4 ~ 1.9) | 1.6 (1.4 ~ 1.8) | 1.4 (1.3 ~ 1.5) | 1.4 (1.3 ~ 1.5) |
| 全リン mg/L | 0.020 (0.02未満 ~ 0.020) | 0.025 (0.02未満 ~ 0.040) | 0.025 (0.02未満 ~ 0.030) | 0.025 (0.02未満 ~ 0.030) |

資料1-6(1) No.6藤古川（藤下橋上流）水質検査結果(H21～H28)

| 項目 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|--------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| pH | 8.0 (7.8 ~ 8.2) | 7.9 (7.8 ~ 7.9) | 7.7 (7.6 ~ 7.9) | 7.9 (7.2 ~ 8.2) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5) | 0.6 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) |
| COD mg/L | 1.2 (0.5 ~ 1.7) | 1.6 (1.4 ~ 1.7) | 1.5 (0.8 ~ 2.1) | 1.4 (1.1 ~ 1.8) |
| SS mg/L | 2 (1 ~ 3) | 3 (2 ~ 4) | 2 (1 ~ 3) | 3 (2 ~ 4) |
| DO mg/L | 11 (7.7 ~ 13) | 10 (8.4 ~ 14) | 9.7 (7.5 ~ 12) | 10 (8.1 ~ 13) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 2,200 (45 ~ 7,900) | 1,300 (490 ~ 2,400) | 2,000 (170 ~ 3,500) | 1,900 (450 ~ 4,900) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 1.0 (0.9 ~ 1.1) | 1.0 (0.9 ~ 1.2) | 0.9 (0.8 ~ 1.2) | 0.9 (0.8 ~ 1.0) |
| 全リン mg/L | 0.031 (0.024 ~ 0.042) | 0.033 (0.013 ~ 0.046) | 0.032 (0.026 ~ 0.038) | 0.036 (0.027 ~ 0.043) |
| 項目 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| pH | 8.1 (7.6 ~ 8.4) | 8.1 (7.8 ~ 8.3) | 8.1 (7.8 ~ 8.3) | 8.0 (7.9 ~ 8.2) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) | 0.6 (0.5未満 ~ 0.7) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) |
| COD mg/L | 1.2 (0.9 ~ 1.4) | 1.1 (0.7 ~ 1.4) | 1.5 (1.1 ~ 2.1) | 1.3 (1.1 ~ 1.7) |
| SS mg/L | 1 (1 ~ 2) | 3 (2 ~ 3) | 4 (3 ~ 5) | 4 (2 ~ 6) |
| DO mg/L | 10 (8.9 ~ 13) | 11 (9.5 ~ 13) | 10 (9 ~ 13) | 9.9 (8.8 ~ 12) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 1,800 (130 ~ 3,300) | 2,700 (130 ~ 4,900) | 4,100 (170 ~ 7,900) | 7,700 (330 ~ 14,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.7 (0.6 ~ 0.8) | 0.8 (0.7 ~ 1.0) | 0.8 (0.6 ~ 1.0) | 0.9 (0.7 ~ 0.9) |
| 全リン mg/L | 0.029 (0.015 ~ 0.037) | 0.034 (0.025 ~ 0.038) | 0.034 (0.023 ~ 0.040) | 0.028 (0.020 ~ 0.030) |

資料1-6(2) No.6藤古川(藤下橋上流)水質検査結果(H29~R6)

| 項目 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|--------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| pH | 8.1 (8.0 ~ 8.1) | 8.1 (8.0 ~ 8.2) | 8.1 (8.1 ~ 8.2) | 8.1 (7.9 ~ 8.2) |
| BOD mg/L | 0.7 (0.5未満 ~ 0.9) | 0.6 (0.5未満 ~ 0.7) | 0.5 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.6) |
| COD mg/L | 1.3 (1.0 ~ 1.7) | 1.5 (1.0 ~ 1.8) | 1.3 (1.1 ~ 1.5) | 1.3 (0.8 ~ 1.8) |
| SS mg/L | 4 (2 ~ 6) | 7 (3 ~ 16) | 3 (1未満 ~ 5) | 6 (2 ~ 7) |
| DO mg/L | 10 (8.1 ~ 13) | 10 (8.7 ~ 12) | 11 (9.2 ~ 13) | 11 (9.4 ~ 15) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 5,200 (220 ~ 11,000) | 5,600 (330 ~ 17,000) | 5,400 (1,100 ~ 11,000) | 6,600 (330 ~ 11,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.8 (0.7 ~ 0.9) | 0.8 (0.6 ~ 1.0) | 0.9 (0.8 ~ 0.9) | 0.9 (0.6 ~ 1.0) |
| 全リン mg/L | 0.030 (0.020 ~ 0.040) | 0.038 (0.030 ~ 0.050) | 0.035 (0.030 ~ 0.040) | 0.033 (0.02未満 ~ 0.050) |
| 項目 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| pH | 8.1 (7.9 ~ 8.2) | 7.9 (7.8 ~ 8.0) | 8.0 (7.8 ~ 8.1) | 8.0 (7.8 ~ 8.1) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.8 (0.5未満 ~ 0.9) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) |
| COD mg/L | 1.1 (0.8 ~ 1.4) | 1.1 (0.5 ~ 1.8) | 1.2 (0.9 ~ 1.6) | 1.2 (0.9 ~ 1.6) |
| SS mg/L | 3 (1 ~ 4) | 6 (2 ~ 12) | 5 (1 ~ 7) | 5 (1 ~ 7) |
| DO mg/L | 10 (8.7 ~ 13) | 11 (8.8 ~ 14) | 10 (8.5 ~ 13) | 10 (8.5 ~ 13) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 9,000 (330 ~ 23,000) | | | |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | 230 (15 ~ 230) | 230 (13 ~ 230) | 200 (13 ~ 200) |
| 全窒素 mg/L | 0.8 (0.7 ~ 1.0) | 0.9 (0.7 ~ 1.0) | 0.7 (0.6 ~ 0.8) | 0.7 (0.6 ~ 0.8) |
| 全リン mg/L | 0.025 (0.02未満 ~ 0.030) | 0.038 (0.02未満 ~ 0.050) | 0.040 (0.030 ~ 0.050) | 0.040 (0.030 ~ 0.050) |

資料1-7(1) No.7藤古川（梨木川合流前）水質検査結果(H21～H28)

| 項目 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|--------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| pH | 7.9 (7.8 ~ 8.0) | 7.9 (7.8 ~ 7.9) | 7.6 (7.1 ~ 7.9) | 7.8 (7.1 ~ 8.1) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.6 (0.5未満 ~ 0.7) | 0.5 (0.5未満 ~ 0.5) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) |
| COD mg/L | 1.8 (1.3 ~ 2.1) | 1.8 (1.5 ~ 2.2) | 2.1 (1.4 ~ 2.6) | 1.9 (1.3 ~ 2.4) |
| SS mg/L | 2 (1未満 ~ 2) | 2 (2 ~ 2) | 2 (1 ~ 3) | 2 (1 ~ 2) |
| DO mg/L | 11 (7.5 ~ 13) | 10 (8 ~ 13) | 9.5 (7.5 ~ 12) | 9.9 (8.2 ~ 13) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 1,300 (110 ~ 3,300) | 9,500 (700 ~ 35,000) | 4,100 (1,700 ~ 7,000) | 5,600 (230 ~ 11,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 1.1 (0.9 ~ 1.3) | 1.0 (0.8 ~ 1.3) | 1.1 (0.8 ~ 1.9) | 0.9 (0.8 ~ 1.2) |
| 全リン mg/L | 0.072 (0.030 ~ 0.110) | 0.052 (0.015 ~ 0.075) | 0.052 (0.033 ~ 0.089) | 0.103 (0.044 ~ 0.190) |
| 項目 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| pH | 8.0 (7.7 ~ 8.1) | 8.0 (7.8 ~ 8.0) | 7.8 (7.4 ~ 8.1) | 8.0 (7.8 ~ 8.1) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.7) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.7) |
| COD mg/L | 1.7 (1.2 ~ 2.0) | 1.4 (1.0 ~ 2.2) | 1.7 (1.3 ~ 2.5) | 1.7 (1.2 ~ 2.3) |
| SS mg/L | 2 (1未満 ~ 2) | 2 (1未満 ~ 2) | 3 (2 ~ 5) | 2 (1 ~ 3) |
| DO mg/L | 9.8 (8.3 ~ 13) | 10 (9 ~ 13) | 10 (8.6 ~ 13) | 10 (8.7 ~ 12) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 3,200 (45 ~ 7,900) | 3,200 (330 ~ 7,900) | 6,700 (330 ~ 17,000) | 3,400 (490 ~ 4,900) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.7 (0.6 ~ 0.8) | 0.8 (0.7 ~ 0.9) | 0.7 (0.5 ~ 0.9) | 0.9 (0.9 ~ 0.9) |
| 全リン mg/L | 0.090 (0.059 ~ 0.130) | 0.055 (0.024 ~ 0.100) | 0.044 (0.018 ~ 0.062) | 0.048 (0.030 ~ 0.080) |

資料1-7(2) No.7藤古川（梨木川合流前）水質検査結果(H29～R6)

| 項目 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|--------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| pH | 8.0 (7.9 ~ 8.1) | 7.9 (7.9 ~ 8.0) | 8.0 (8.0 ~ 8.1) | 7.9 (7.8 ~ 8.1) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.5未満) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.8) | 0.6 (0.5未満 ~ 1.1) | 0.6 (0.5未満 ~ 0.9) |
| COD mg/L | 1.6 (1.2 ~ 2.1) | 1.7 (1.2 ~ 2.5) | 1.6 (1.4 ~ 1.7) | 1.5 (1.4 ~ 1.7) |
| SS mg/L | 2 (2 ~ 3) | 2 (1 ~ 3) | 2 (1未満 ~ 4) | 2 (1 ~ 5) |
| DO mg/L | 10 (8.3 ~ 13) | 10 (8.3 ~ 12) | 11 (9.3 ~ 13) | 11 (8.9 ~ 16) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 7,700 (45 ~ 13,000) | 2,000 (220 ~ 7,000) | 3,600 (330 ~ 7,900) | 3,000 (130 ~ 7,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.8 (0.7 ~ 0.8) | 0.9 (0.8 ~ 1.0) | 1.0 (0.8 ~ 1.3) | 0.8 (0.6 ~ 1.1) |
| 全リン mg/L | 0.045 (0.030 ~ 0.060) | 0.050 (0.030 ~ 0.070) | 0.050 (0.040 ~ 0.060) | 0.045 (0.02未満 ~ 0.070) |
| 項目 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| pH | 8.0 (7.8 ~ 8.0) | 7.9 (7.8 ~ 8.0) | 8.0 (7.7 ~ 8.1) | 8.0 (7.7 ~ 8.1) |
| BOD mg/L | 0.6 (0.5未満 ~ 0.9) | 0.9 (0.5未満 ~ 1.3) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.6) | 0.5未満 (0.5未満 ~ 0.6) |
| COD mg/L | 1.4 (1.2 ~ 1.6) | 1.5 (1.2 ~ 1.8) | 1.4 (1.3 ~ 1.6) | 1.4 (1.3 ~ 1.6) |
| SS mg/L | 2 (2 ~ 2) | 3 (2 ~ 5) | 2 (1 ~ 4) | 2 (1 ~ 4) |
| DO mg/L | 11 (8.2 ~ 13) | 11 (9.1 ~ 14) | 10 (8.5 ~ 12) | 10 (8.5 ~ 12) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 670 (450 ~ 1,300) | | | |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | 170 (56 ~ 170) | 110 (18 ~ 110) | 190 (18 ~ 190) |
| 全窒素 mg/L | 0.9 (0.7 ~ 1.1) | 0.8 (0.7 ~ 1.0) | 0.9 (0.5 ~ 1.4) | 0.9 (0.5 ~ 1.4) |
| 全リン mg/L | 0.038 (0.020 ~ 0.050) | 0.055 (0.020 ~ 0.080) | 0.053 (0.040 ~ 0.060) | 0.053 (0.040 ~ 0.060) |

資料1-8(1) No.8中狭川（中狭最終処分場下流）水質検査結果(H21～H28)

| 項目 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|--------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| pH | 8.0 (7.5 ～ 8.8) | 7.9 (7.5 ～ 8.8) | 7.6 (7.2 ～ 7.7) | 8.6 (7.5 ～ 9.8) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ～ 0.5) | 1.2 (0.5未満 ～ 1.2) | 0.9 (0.5未満 ～ 1.1) | 0.5 (0.5未満 ～ 1.3) |
| COD mg/L | 2.1 (1.3 ～ 2.8) | 2.5 (1.3 ～ 3.6) | 2.1 (1.2 ～ 3.1) | 2.8 (1.2 ～ 4.9) |
| SS mg/L | 2 (1 ～ 4) | 4 (3 ～ 4) | 3 (1 ～ 5) | 2 (1 ～ 2) |
| DO mg/L | 10 (7.4 ～ 12) | 10 (8.1 ～ 13) | 9.1 (7.4 ～ 11) | 10 (8.2 ～ 12) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 10,000 (230 ～ 35,000) | 46,000 (110 ～ 160,000) | 8,600 (230 ～ 24,000) | 16,000 (110 ～ 54,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.5 (0.4 ～ 0.9) | 0.5 (0.3 ～ 0.8) | 0.6 (0.3 ～ 0.8) | 0.4 (0.2 ～ 0.8) |
| 全リン mg/L | 0.013 (0.009 ～ 0.024) | 0.023 (0.004 ～ 0.041) | 0.020 (0.010 ～ 0.032) | 0.025 (0.009 ～ 0.055) |
| 項目 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| pH | 8.3 (7.6 ～ 9.1) | 7.9 (7.4 ～ 9) | 8.1 (7.6 ～ 8.8) | 7.8 (7.5 ～ 8.4) |
| BOD mg/L | 0.5未満 (0.5未満 ～ 0.8) | 0.5未満 (0.5未満 ～ 1.1) | 0.9 (0.5未満 ～ 1) | 0.5未満 (0.5未満 ～ 0.6) |
| COD mg/L | 2.4 (1.6 ～ 3.1) | 2.2 (1.4 ～ 3.3) | 2.6 (2.2 ～ 3) | 2.5 (1.7 ～ 3.8) |
| SS mg/L | 3 (2 ～ 4) | 6 (4 ～ 9) | 4 (1 ～ 6) | 5 (2 ～ 9) |
| DO mg/L | 9.6 (8.3 ～ 12) | 10 (8.8 ～ 12) | 10 (8.5 ～ 13) | 9.5 (8.2 ～ 12) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 31,000 (330 ～ 54,000) | 5,100 (78 ～ 11,000) | 11,000 (220 ～ 22,000) | 8,400 (700 ～ 22,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.3 (0.2 ～ 0.5) | 0.5 (0.2 ～ 0.7) | 0.5 (0.2 ～ 0.7) | 0.6 (0.5 ～ 0.7) |
| 全リン mg/L | 0.023 (0.012 ～ 0.034) | 0.022 (0.018 ～ 0.028) | 0.019 (0.007 ～ 0.031) | 0.030 (0.02未満 ～ 0.050) |

資料1-8(2) No.8中狭川（中狭最終処分場下流）水質検査結果(H29～R6)

| 項目 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|--------------------|-------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| pH | 7.8 (7.5 ～ 8.6) | 7.8 (7.6 ～ 7.9) | 8.0 (7.7 ～ 8.5) | 8.0 (7.7 ～ 8.3) |
| BOD mg/L | 0.6 (0.5未満 ～ 0.8) | 0.6 (0.5未満 ～ 1.1) | 0.9 (0.5 ～ 0.9) | 0.7 (0.5未満 ～ 1.3) |
| COD mg/L | 2.1 (1.3 ～ 2.9) | 2.6 (1.5 ～ 4.1) | 2.2 (1.6 ～ 2.9) | 2.2 (1.5 ～ 2.7) |
| SS mg/L | 3 (1 ～ 5) | 3 (1 ～ 6) | 3 (1未満 ～ 5) | 4 (1 ～ 5) |
| DO mg/L | 10 (8.2 ～ 14) | 10 (8.5 ～ 12) | 10 (8.7 ～ 13) | 11 (8.9 ～ 16) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 17,000 (330 ～ 33,000) | 25,000 (230 ～ 79,000) | 15,000 (330 ～ 23,000) | 22,000 (330 ～ 49,000) |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | | | |
| 全窒素 mg/L | 0.5 (0.4 ～ 0.6) | 0.6 (0.5 ～ 0.7) | 0.6 (0.4 ～ 0.7) | 0.6 (0.4 ～ 0.8) |
| 全リン mg/L | 0.02未満 (0.02未満～0.02未満) | 0.028 (0.02未満～0.040) | 0.020 (0.02未満～0.020) | 0.023 (0.02未満～0.030) |
| 項目 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| pH | 7.8 (7.5 ～ 8.2) | 7.6 (7.5 ～ 7.7) | 7.8 (7.5 ～ 8.4) | 7.8 (7.5 ～ 8.4) |
| BOD mg/L | 0.6 (0.5未満 ～ 0.9) | 0.7 (0.5未満 ～ 0.8) | 0.5 (0.5未満 ～ 0.6) | 0.5 (0.5未満 ～ 0.6) |
| COD mg/L | 2.3 (1.3 ～ 3.3) | 2.4 (1.8 ～ 3.1) | 2 (1.8 ～ 2.1) | 2 (1.8 ～ 2.1) |
| SS mg/L | 4 (1 ～ 10) | 3 (2 ～ 5) | 2 (1 ～ 3) | 2 (1 ～ 3) |
| DO mg/L | 10 (8.6 ～ 13) | 10 (7.4 ～ 14) | 10 (8.6 ～ 13) | 10 (8.6 ～ 13) |
| 大腸菌群数 MPN/100mL | 43,000 (2,300 ～ 130,000) | | | |
| 大腸菌数 CFU/100mL | | 2,500 (36 ～ 2,500) | 750 (29 ～ 750) | 470 (29 ～ 470) |
| 全窒素 mg/L | 0.6 (0.4 ～ 1) | 0.6 (0.4 ～ 0.9) | 0.4 (0.2 ～ 0.5) | 0.4 (0.2 ～ 0.5) |
| 全リン mg/L | 0.020 (0.02未満～0.020) | 0.025 (0.02未満～0.040) | 0.020 (0.02未満～0.020) | 0.020 (0.02未満～0.020) |

資料2 汚濁負荷量の推計手法

1 処理形態別人口の実績と将来推計

本町の処理形態別人口の推移は資料 2-1 に、処理形態別人口の予測は資料 2-2 に示すとおりです。

資料 2-1 処理形態別人口の推移

| 区 分 | 単位 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|----------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 計画処理区域内人口 | 人 | 6,771 | 6,577 | 6,384 | 6,244 | 6,096 |
| 水洗化・生活雑排水処理人口 | 人 | 5,741 | 5,591 | 5,362 | 5,251 | 5,125 |
| 公共下水道人口 | 人 | 4,565 | 4,450 | 4,301 | 4,214 | 4,115 |
| 農業集落排水人口 | 人 | 599 | 584 | 595 | 584 | 568 |
| 合併処理浄化槽人口 | 人 | 577 | 557 | 466 | 453 | 442 |
| 水洗化・生活雑排水未処理人口 | 人 | 579 | 565 | 558 | 449 | 442 |
| 単独処理浄化槽人口 | 人 | 579 | 565 | 558 | 449 | 442 |
| 非水洗化人口 | 人 | 451 | 421 | 464 | 544 | 529 |
| し尿人口（汲み取り） | 人 | 451 | 421 | 464 | 544 | 529 |
| 自家処理人口 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 生活排水処理率 | % | 84.8 | 85.0 | 84.0 | 84.1 | 84.1 |

資料 2-2 処理形態別人口の予測

| 区 分 | 単位 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 |
|----------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 計画処理区域内人口 | 人 | 6,004 | 5,891 | 5,778 | 5,665 | 5,552 | 5,438 |
| 水洗化・生活雑排水処理人口 | 人 | 5,122 | 5,102 | 5,079 | 5,053 | 5,024 | 4,992 |
| 公共下水道人口 | 人 | 4,131 | 4,130 | 4,125 | 4,118 | 4,108 | 4,095 |
| 農業集落排水人口 | 人 | 558 | 548 | 537 | 527 | 516 | 506 |
| 合併処理浄化槽人口 | 人 | 433 | 424 | 417 | 408 | 400 | 391 |
| 水洗化・生活雑排水未処理人口 | 人 | 402 | 359 | 318 | 278 | 239 | 201 |
| 単独処理浄化槽人口 | 人 | 402 | 359 | 318 | 278 | 239 | 201 |
| 非水洗化人口 | 人 | 480 | 430 | 381 | 334 | 289 | 245 |
| し尿人口（汲み取り） | 人 | 480 | 430 | 381 | 334 | 289 | 245 |
| 自家処理人口 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 生活排水処理率 | % | 85.3 | 86.6 | 87.9 | 89.2 | 90.5 | 91.8 |

| 区 分 | 単位 | R13 | R14 | R15 | R16 | R17 |
|----------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 計画処理区域内人口 | 人 | 5,343 | 5,248 | 5,153 | 5,058 | 4,965 |
| 水洗化・生活雑排水処理人口 | 人 | 4,974 | 4,954 | 4,931 | 4,906 | 4,866 |
| 公共下水道人口 | 人 | 4,093 | 4,088 | 4,081 | 4,072 | 4,042 |
| 農業集落排水人口 | 人 | 497 | 488 | 479 | 470 | 462 |
| 合併処理浄化槽人口 | 人 | 384 | 378 | 371 | 364 | 362 |
| 水洗化・生活雑排水未処理人口 | 人 | 166 | 131 | 98 | 66 | 45 |
| 単独処理浄化槽人口 | 人 | 166 | 131 | 98 | 66 | 45 |
| 非水洗化人口 | 人 | 203 | 163 | 124 | 86 | 54 |
| し尿人口（汲み取り） | 人 | 203 | 163 | 124 | 86 | 54 |
| 自家処理人口 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 生活排水処理率 | % | 93.1 | 94.4 | 95.7 | 97.0 | 98.0 |

2 汚濁負荷量算定方法

本計画の基本方針等を検討するための資料として、生物化学的酸素要求量（BOD）の汚濁負荷量について調査・推計を行いました。

BOD 汚濁負荷量の把握は、発生源別（生活系・事業系・自然系・畜産系）の内訳と、現状及び将来予測を実施しました。

算定方法は、資料 2-3 に示すとおりです。

資料 2-3 BOD 汚濁負荷量算定方法

| 項目 | | 汚濁負荷量推計方法 |
|-----|-----------|-------------------------|
| 生活系 | ① 下水道 | 計画排水量×水質調査結果 |
| | ② 合併処理浄化槽 | 対象人口×負荷量原単位（4.3g/人・日） |
| | ③ 単独処理浄化槽 | 対象人口×負荷量原単位（4.55g/人・日） |
| | ⑤ 生活雑排水 | ③ 単独処理浄化槽 ④ 汲み取り便槽 |
| 事業系 | ⑥ 事業所排水 | 排水基準値（25mg/L）×届出排水量 |
| 自然系 | ⑦ 水田 | 耕作面積×負荷量原単位（84g/ha・日） |
| | ⑧ 畑 | 耕作面積×負荷量原単位（12.9g/ha・日） |
| 畜産系 | ⑨ 牛 | 飼育頭数×負荷量原単位（60g/頭・日） |
| | ⑩ 豚 | 飼育頭数×負荷量原単位（19.5g/頭・日） |

(1) 生活系汚濁負荷量

① 下水道

下水道（公共下水道、農業集落排水処理施設）で処理されている排水の BOD 負荷量は、各処理施設の計画排水量（ m^3 /日平均）から計画処理人口を除いた数値に各年度の下水道（公共下水道、農業集落排水処理施設）人口を乗じることで各年度の放流量（ m^3 /日平均）を算出後、これに各処理施設の水質調査結果(mg/L) を乗じて算出しました。計画排水量及び計画処理人口は資料 2-4 に示すとおりです。

資料 2-4 下水道施設の計画排水量と計画処理人口

| 処理施設 | | 計画排水量 (m^3 /日) | 計画処理人口 (人) |
|--------|--------------|----------------------|---------------|
| 公共下水道 | 関ヶ原浄化センター | 2,420 | 4,900 |
| 農業集落排水 | 今須農業集落排水処理施設 | 387 | 1,430 |

② 合併処理浄化槽

合併処理浄化槽から排出される排水の BOD 負荷量は、1 人 1 日あたりの BOD 負荷量である 43g^{※1}に合併処理浄化槽の BOD 除去率 90%^{※2}を乗じて算出した原単位 4.3g/人・日に、各年の合併処理浄化槽人口を乗じて算出しました。

③ 単独処理浄化槽

単独浄化槽から排出される排水の BOD 負荷量は、1 人 1 日あたりし尿の BOD 負荷量である 13g^{※1}に単独処理浄化槽の BOD 除去率 65%^{※3}を乗じて算出した原単位 4.55g/人・日に、各年の単独処理浄化槽人口を乗じて算出しました。

⑤ 生活雑排水（③単独処理浄化槽＋④汲み取り便槽）

単独処理浄化槽世帯及び汲み取り世帯から排出される生活雑排水の BOD 負荷量は、1 人 1 日あたり生活雑排水の BOD 負荷量原単位である 30g/人・日^{※1}に、各年の単独処理浄化槽人口及び汲み取り人口を乗じて算出しました。

(2) 事業系汚濁負荷量

事業場ごとの届出排水量に業種ごとの排水量原単位（「令和 6 年度 水質汚濁物質排出量総合調査（環境省）」産業分類別の BOD 汚濁負荷量平均値より類似施設を当てはめた値、あるいは水質汚濁防止法に基づく排水基準を定める条例（岐阜県）の日平均基準値）を乗じて算出しました。

(3) 自然系汚濁負荷量

① 水田

水田から公共用水域に排出される耕作に伴う BOD 負荷量は、水田の BOD 発生源単位である 8.4kg/km²・日（84g/ha・日）に「耕地面積調査」の面積を乗じて算出しました。

② 畑

畑から公共用水域に排出される耕作に伴う BOD 負荷量は、畑の BOD 発生源単位である 1.29kg/km²・日（12.9g/ha・日）に「耕地面積調査」の面積を乗じて算出しました。

※1 生活排水読本（環境省）

※2 浄化槽法施行規則 第一条の二（昭和五十九年三月三十日厚生省令第十七号）

※3 建設基準法施行令 第三十二条（昭和二十五年十一月十六日政令第三百三十八号）

(4) 畜産系汚濁負荷量

畜産系発生源の対象を牛・豚のふん尿のみとして、町内の飼育頭数から算出しました。

① 牛

BOD 負荷量である 600g^{※1}/頭・日に BOD 除去率 90%^{※2} を乗じて算出した原単位 60g/頭・日に、各年の飼育頭数を乗じて算出しました。

② 豚

BOD 負荷量である 195g^{※1}/頭・日に BOD 除去率 90%^{※2} を乗じて算出した原単位 19.5g/頭・日に、各年の飼育頭数を乗じて算出しました。

3 汚濁負荷量の推計結果

以上の算定方法により算出した令和 2 年度～令和 6 年度の BOD 汚濁負荷量実績は資料 2-5～資料 2-9 に、令和 12 年度及び令和 17 年度の BOD 汚濁負荷量の推計値は資料 2-10 及び資料 2-11 に示すとおりです。

なお、水田面積の将来推計に関するトレンドグラフは資料 2-12 に示すとおりです。

資料 2-5 BOD 汚濁負荷量実績値（令和 2 年度）

| 区分 | 項目 | | 放流量 (m ³ /日) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
|-----|----------|----------|------------------------------|--------------|----------------|----------------------|
| 生活系 | ①下水道 | 公共下水道 | 1,407 | 2.5 | 3,560 | 関ヶ原町提供データ |
| | | 農業集落排水 | 162 | 1.8 | 297 | 関ヶ原町提供データ |
| 区分 | 項目 | | 人口 (人) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 生活系 | ②合併処理浄化槽 | | 577 | 4.3 | 2,481 | 生活排水原単位43g/人日×除去率90% |
| | ③単独処理浄化槽 | | 579 | 4.55 | 2,634 | し尿原単位13g/人日×除去率65% |
| | ⑤雑排水 | ③単独処理浄化槽 | | 30 | 17,370 | 生活排水30g/人日 |
| | | ④汲み取り便槽 | 451 | | 13,530 | |
| 区分 | 項目 | | 届出排水量 (m ³ /日) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 事業者 | ⑥特定事業所排水 | | 3,283 | 業種別 | 18,319 | 業種ごとの排水量原単位 |
| 区分 | 項目 | | 面積 (ha) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 自然系 | ⑦水田 | | 245 | 84 | 20,580 | 耕地面積調査より |
| | ⑧畑 | | 40 | 12.9 | 516 | 耕地面積調査より |
| 区分 | 項目 | | 飼育頭数 (頭) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 畜産系 | ⑨牛 | | 2 | 60 | 120 | 発生原単位600g/人日×除去率90% |
| | ⑩豚 | | 0 | 19.5 | 0 | 発生原単位195g/人日×除去率90% |

※1 流域別下水道整備総合計画調査 指針と解説 参考資料（国土交通省）

※2 浄化槽法施行規則 第一条の二（昭和五十九年三月三十日厚生省令第十七号）

資料 2-6 BOD 汚濁負荷量実績値（令和 3 年度）

| 区分 | 項目 | | 放流量 (m ³ /日) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
|-----|----------|----------|------------------------------|--------------|----------------|----------------------|
| 生活系 | ①下水道 | 公共下水道 | 1,349 | 2.8 | 3,711 | 関ヶ原町提供データ |
| | | 農業集落排水 | 158 | 1.1 | 177 | 関ヶ原町提供データ |
| 区分 | 項目 | | 人口 (人) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 生活系 | ②合併処理浄化槽 | | 557 | 4.3 | 2,395 | 生活排水原単位43g/人日×除去率90% |
| | ③単独処理浄化槽 | | 565 | 4.55 | 2,571 | し尿原単位13g/人日×除去率65% |
| | ⑤雑排水 | ③単独処理浄化槽 | | 30 | 16,950 | 生活排水30g/人日 |
| | | ④汲み取り便槽 | 421 | | 12,630 | |
| 区分 | 項目 | | 届出排水量 (m ³ /日) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 事業者 | ⑥特定事業所排水 | | 3,283 | 業種別 | 18,319 | 業種ごとの排水量原単位 |
| 区分 | 項目 | | 面積 (ha) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 自然系 | ⑦水田 | | 244 | 84 | 20,496 | 耕地面積調査より |
| | ⑧畑 | | 40 | 12.9 | 516 | 耕地面積調査より |
| 区分 | 項目 | | 飼育頭数 (頭) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 畜産系 | ⑨牛 | | 2 | 60 | 120 | 発生原単位600g/人日×除去率90% |
| | ⑩豚 | | 0 | 19.5 | 0 | 発生原単位195g/人日×除去率90% |

資料 2-7 BOD 汚濁負荷量実績値（令和 4 年度）

| 区分 | 項目 | | 放流量 (m ³ /日) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
|-----|----------|----------|------------------------------|--------------|----------------|----------------------|
| 生活系 | ①下水道 | 公共下水道 | 1,169 | 2.3 | 2,677 | 関ヶ原町提供データ |
| | | 農業集落排水 | 161 | 0.9 | 137 | 関ヶ原町提供データ |
| 区分 | 項目 | | 人口 (人) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 生活系 | ②合併処理浄化槽 | | 466 | 4.3 | 2,004 | 生活排水原単位43g/人日×除去率90% |
| | ③単独処理浄化槽 | | 558 | 4.55 | 2,539 | し尿原単位13g/人日×除去率65% |
| | ⑤雑排水 | ③単独処理浄化槽 | | 30 | 16,740 | 生活排水30g/人日 |
| | | ④汲み取り便槽 | 464 | | 13,920 | |
| 区分 | 項目 | | 届出排水量 (m ³ /日) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 事業者 | ⑥特定事業所排水 | | 3,283 | 業種別 | 18,319 | 業種ごとの排水量原単位 |
| 区分 | 項目 | | 面積 (ha) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 自然系 | ⑦水田 | | 242 | 84 | 20,328 | 耕地面積調査より |
| | ⑧畑 | | 40 | 12.9 | 516 | 耕地面積調査より |
| 区分 | 項目 | | 飼育頭数 (頭) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 畜産系 | ⑨牛 | | 2 | 60 | 120 | 発生原単位600g/人日×除去率90% |
| | ⑩豚 | | 0 | 19.5 | 0 | 発生原単位195g/人日×除去率90% |

資料 2-8 BOD 汚濁負荷量実績値（令和 5 年度）

| 区分 | 項目 | | 放流量 (m ³ /日) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
|-----|----------|----------|------------------------------|--------------|----------------|----------------------|
| 生活系 | ①下水道 | 公共下水道 | 1,173 | 2.1 | 2,486 | 関ヶ原町提供データ |
| | | 農業集落排水 | 158 | 1.0 | 152 | 関ヶ原町提供データ |
| 区分 | 項目 | | 人口 (人) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 生活系 | ②合併処理浄化槽 | | 453 | 4.3 | 1,948 | 生活排水原単位43g/人日×除去率90% |
| | ③単独処理浄化槽 | | 449 | 4.55 | 2,043 | し尿原単位13g/人日×除去率65% |
| | ⑤雑排水 | ③単独処理浄化槽 | | 30 | 13,470 | 生活排水30g/人日 |
| | | ④汲み取り便槽 | 544 | | 16,320 | |
| 区分 | 項目 | | 届出排水量 (m ³ /日) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 事業者 | ⑥特定事業所排水 | | 3,283 | 業種別 | 18,319 | 業種ごとの排水量原単位 |
| 区分 | 項目 | | 面積 (ha) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 自然系 | ⑦水田 | | 239 | 84 | 20,076 | 耕地面積調査より |
| | ⑧畑 | | 40 | 12.9 | 516 | 耕地面積調査より |
| 区分 | 項目 | | 飼育頭数 (頭) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 畜産系 | ⑨牛 | | 2 | 60 | 120 | 発生原単位600g/人日×除去率90% |
| | ⑩豚 | | 0 | 19.5 | 0 | 発生原単位195g/人日×除去率90% |

資料 2-9 BOD 汚濁負荷量実績値（令和 6 年度）

| 区分 | 項目 | | 放流量 (m ³ /日) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
|-----|----------|----------|------------------------------|--------------|----------------|----------------------|
| 生活系 | ①下水道 | 公共下水道 | 1,157 | 1.8 | 2,107 | 関ヶ原町提供データ |
| | | 農業集落排水 | 154 | 1.1 | 172 | 関ヶ原町提供データ |
| 区分 | 項目 | | 人口 (人) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 生活系 | ②合併処理浄化槽 | | 442 | 4.3 | 1,901 | 生活排水原単位43g/人日×除去率90% |
| | ③単独処理浄化槽 | | 442 | 4.55 | 2,011 | し尿原単位13g/人日×除去率65% |
| | ⑤雑排水 | ③単独処理浄化槽 | | 30 | 13,260 | 生活排水30g/人日 |
| | | ④汲み取り便槽 | 529 | | 15,870 | |
| 区分 | 項目 | | 届出排水量 (m ³ /日) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 事業者 | ⑥特定事業所排水 | | 3,283 | 業種別 | 18,319 | 業種ごとの排水量原単位 |
| 区分 | 項目 | | 面積 (ha) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 自然系 | ⑦水田 | | 237 | 84 | 19,908 | 耕地面積調査より |
| | ⑧畑 | | 40 | 12.9 | 516 | 耕地面積調査より |
| 区分 | 項目 | | 飼育頭数 (頭) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 畜産系 | ⑨牛 | | 0 | 60 | 0 | 発生原単位600g/人日×除去率90% |
| | ⑩豚 | | 0 | 19.5 | 0 | 発生原単位195g/人日×除去率90% |

資料 2-10 BOD 汚濁負荷量実績値（令和 12 年度）

| 区分 | 項目 | 放流量 (m ³ /日) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
|-----|----------|------------------------------|--------------|----------------|----------------------|
| 生活系 | ①下水道 | 1,182 | 1.8 | 2,151 | 関ヶ原町提供データ |
| | 農業集落排水 | 137 | 1.1 | 153 | 関ヶ原町提供データ |
| 区分 | 項目 | 人口 (人) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 生活系 | ②合併処理浄化槽 | 391 | 4.3 | 1,681 | 生活排水原単位43g/人日×除去率90% |
| | ③単独処理浄化槽 | 201 | 4.55 | 915 | し尿原単位13g/人日×除去率65% |
| | ⑤雑排水 | | 30 | 6,030 | 生活排水30g/人日 |
| | ④汲み取り便槽 | 7,350 | | | |
| 区分 | 項目 | 届出排水量 (m ³ /日) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 事業者 | ⑥特定事業所排水 | 3,283 | 業種別 | 18,319 | 業種ごとの排水量原単位 |
| 区分 | 項目 | 面積 (ha) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 自然系 | ⑦水田 | 225 | 84 | 18,900 | トレンド予測による |
| | ⑧畑 | 40 | 12.9 | 516 | 耕地面積調査より |
| 区分 | 項目 | 飼育頭数 (頭) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 畜産系 | ⑨牛 | 0 | 60 | 0 | 発生原単位600g/人日×除去率90% |
| | ⑩豚 | 0 | 19.5 | 0 | 発生原単位195g/人日×除去率90% |

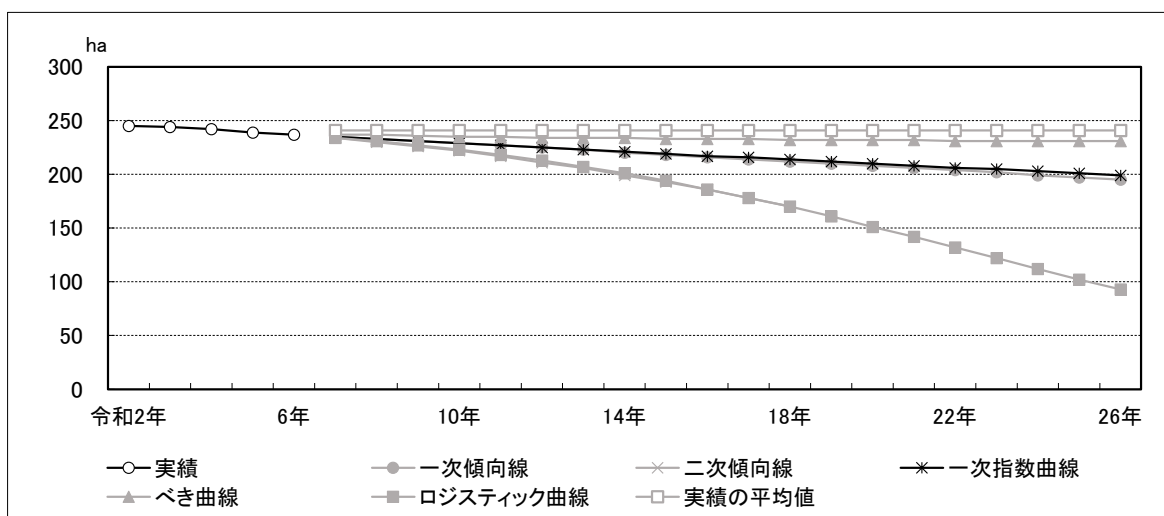
資料 2-11 BOD 汚濁負荷量実績値（令和 17 年度）

| 区分 | 項目 | 放流量 (m ³ /日) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
|-----|----------|------------------------------|--------------|----------------|----------------------|
| 生活系 | ①下水道 | 1,166 | 1.8 | 2,123 | 関ヶ原町提供データ |
| | 農業集落排水 | 125 | 1.1 | 140 | 関ヶ原町提供データ |
| 区分 | 項目 | 人口 (人) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 生活系 | ②合併処理浄化槽 | 362 | 4.3 | 1,557 | 生活排水原単位43g/人日×除去率90% |
| | ③単独処理浄化槽 | 45 | 4.55 | 205 | し尿原単位13g/人日×除去率65% |
| | ⑤雑排水 | | 30 | 1,350 | 生活排水30g/人日 |
| | ④汲み取り便槽 | 1,620 | | | |
| 区分 | 項目 | 届出排水量 (m ³ /日) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 事業者 | ⑥特定事業所排水 | 3,283 | 業種別 | 18,319 | 業種ごとの排水量原単位 |
| 区分 | 項目 | 面積 (ha) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 自然系 | ⑦水田 | 216 | 84 | 18,144 | トレンド予測による |
| | ⑧畑 | 40 | 12.9 | 516 | 耕地面積調査より |
| 区分 | 項目 | 飼育頭数 (頭) | 水質 (mg/L) | 汚濁負荷量 (g/日) | 備考 |
| 畜産系 | ⑨牛 | 0 | 60 | 0 | 発生原単位600g/人日×除去率90% |
| | ⑩豚 | 0 | 19.5 | 0 | 発生原単位195g/人日×除去率90% |

資料2-12 水田面積

単位：ha

| 年 度 | x | 一次傾向線 | | 二次傾向線 | | 一次指数曲線 | | べき曲線 | | ロジスティック曲線 | | 実績の平均値 | |
|-----|----------|----------|-----------------|------------------|---------------|--------------------------|-----|------|-----|-----------|-----|--------|-----|
| | | | 増減数 | | 増減数 | | 増減数 | | 増減数 | | 増減数 | | |
| 実績 | 令和2年 | 1 | 245 | - | 245 | - | 245 | - | 245 | - | 245 | - | 245 |
| | 3年 | 2 | 244 | (1) | 244 | (1) | 244 | (1) | 244 | (1) | 244 | (1) | 244 |
| | 4年 | 3 | 242 | (2) | 242 | (2) | 242 | (2) | 242 | (2) | 242 | (2) | 242 |
| | 5年 | 4 | 239 | (3) | 239 | (3) | 239 | (3) | 239 | (3) | 239 | (3) | 239 |
| | 6年 | 5 | 237 | (2) | 237 | (2) | 237 | (2) | 237 | (2) | 237 | (2) | 237 |
| | 予測 | 7年 | 6 | 235 | (2) | 234 | (3) | 235 | (2) | 237 | 0 | 234 | (3) |
| 8年 | | 7 | 233 | (2) | 230 | (4) | 233 | (2) | 237 | 0 | 231 | (3) | |
| 9年 | | 8 | 231 | (2) | 226 | (4) | 231 | (2) | 236 | (1) | 227 | (4) | |
| 10年 | | 9 | 229 | (2) | 222 | (4) | 229 | (2) | 235 | (1) | 223 | (4) | |
| 11年 | | 10 | 227 | (2) | 217 | (5) | 227 | (2) | 235 | 0 | 218 | (5) | |
| 12年 | | 11 | 225 | (2) | 211 | (6) | 225 | (2) | 234 | (1) | 213 | (5) | |
| 13年 | | 12 | 223 | (2) | 206 | (5) | 223 | (2) | 234 | 0 | 207 | (6) | |
| 14年 | | 13 | 220 | (3) | 199 | (7) | 221 | (2) | 234 | 0 | 201 | (6) | |
| 15年 | | 14 | 218 | (2) | 193 | (6) | 219 | (2) | 233 | (1) | 194 | (7) | |
| 16年 | | 15 | 216 | (2) | 186 | (7) | 217 | (2) | 233 | 0 | 186 | (8) | |
| 17年 | | 16 | 214 | (2) | 178 | (8) | 216 | (1) | 233 | 0 | 178 | (8) | |
| 18年 | | 17 | 212 | (2) | 170 | (8) | 214 | (2) | 232 | (1) | 170 | (8) | |
| 19年 | | 18 | 210 | (2) | 162 | (8) | 212 | (2) | 232 | 0 | 161 | (9) | |
| 20年 | | 19 | 208 | (2) | 153 | (9) | 210 | (2) | 232 | 0 | 151 | (10) | |
| 21年 | | 20 | 206 | (2) | 144 | (9) | 208 | (2) | 232 | 0 | 142 | (9) | |
| 22年 | | 21 | 204 | (2) | 135 | (9) | 206 | (2) | 231 | (1) | 132 | (10) | |
| 23年 | | 22 | 202 | (2) | 125 | (10) | 205 | (1) | 231 | 0 | 122 | (10) | |
| 24年 | | 23 | 199 | (3) | 114 | (11) | 203 | (2) | 231 | 0 | 112 | (10) | |
| 25年 | | 24 | 197 | (2) | 103 | (11) | 201 | (2) | 231 | 0 | 102 | (10) | |
| 26年 | | 25 | 195 | (2) | 92 | (11) | 199 | (2) | 231 | 0 | 93 | (9) | |
| 採用 | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 予測式 | y = | $ax + b$ | $ax^2 + bx + c$ | $a \cdot e^{bx}$ | $a \cdot x^b$ | $\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$ | | | | | | | |
| | a = | -2.10 | -0.2143 | 247.7717 | 246.1390 | -0.15431 | | | | | | | |
| | b = | 247.70 | -0.8143 | -0.0087 | -0.0204 | -3.2997 | | | | | | | |
| | c = | | 246.2000 | | | | | | | | | | |
| | K = | | | | | 255.86 | | | | | | | |
| r = | 0.987757 | 0.994930 | 0.987128 | 0.928278 | 0.993839 | | | | | | | | |





この計画書の本文は古紙パルプ配合率 70%・白色度 80%の
グリーン購入法適合商品を使用しています。